

公共関と型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設 工事設計図

特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所

岩手県八幡平市平館第2地割

2. 敷地面積

15.438.57㎡

3. 工事種目

1. 建物

1) 管理棟

新築1棟

構造

鉄筋コンクリート造

規模

地上1階

建築面積

798.69㎡

(建築基準法による)

建面積

798.69㎡

(国有財産法による)

延べ面積

777.51㎡

(建築基準法による)

延面積

777.51㎡

(国有財産法による)

2) 受入計量設備

新築1棟

構造

鉄筋コンクリート造

規模

地上1階

建築面積

261.30㎡

(建築基準法による)

建面積

261.30㎡

(国有財産法による)

延べ面積

261.30㎡

(建築基準法による)

延面積

261.30㎡

(国有財産法による)

3) コア・資材倉庫

新築1棟

構造

鉄筋コンクリート造

規模

地上1階

建築面積

61.09㎡

(建築基準法による)

建面積

61.09㎡

(国有財産法による)

延べ面積

61.09㎡

(建築基準法による)

延面積

61.09㎡

(国有財産法による)

2. 工作物

1) 門扉(A、B、C)

新設3箇所

2) 車止め支柱

新設一式

3) 囲障

新設一式

4) 植込み土留

新設一式

5) 擁壁

新設一式

6) 屋外掲示板

新設1箇所

7) 庁名板

新設1箇所

8) 旗竿

新設1箇所

3. 外構

1) 舗装(緑石とも)

新設及び改修一式

2) 砂利敷き

新設一式

3) 屋外排水設備

新設一式

4) 境界石標

新設4箇所

4. 造園

1) 樹木(芝張りとも)

新植一式

5. 設備

1) 電気設備

新設一式

2) 機械設備

新設一式

6. 取りこわし

7. 調査

1) 土質調査

調査一式

8. その他

1) 歩道の切下げ

4. 指定部分

・有○無 対象部分()
指定部分工期 年 月 日

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下表のとおりとする。
ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

項目		
2 仮設工事		
3 土工事		
4 地業工事		
5 鉄筋工事		
6 コンクリート工事		
7 鉄骨工事		
8 コンクリート・ALCパネル・押出成形セメント板工事		
9 防水工事		
10 石工事		
11 タイル工事		
12 木工事		
13 屋根及びとい工事		
14 金属工事		
15 左官工事		
16 建具工事		
17 カーテンウォール工事		
18 塗装工事		
19 内装工事		
20 ユニッツ及びその他の工事		
21 排水工事		
22 舗装工事		
23 植栽及び屋上緑化工事		

Ⅱ. 建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁審議部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
・公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)(以下、「標準仕様書」という。)
○建築工事標準詳細図(平成28年版)(以下、「標準詳細図」という。)
・建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は(/)図、機械設備工事の特記仕様書は(/)図による。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。・印のみの場合は適用しない。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 本工事において、「図等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成29年2月7日閣議決定)」(以下「グリーン購入法基本方針」)による特定調達品目の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。なお、□印は設計図書で定めのある品目を示す。

章

1 一般共通事項

① 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
・風圧力
風速(Vo= 30m/s)
地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
・積雪荷重
岩手県建築基準法施行細則第15条(上記以外の市町村)
垂直積雪量: 1.04m 多雪地域

② 環境への配慮

(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層積材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む)しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 材料の品質等

(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリースクセスフロア、移動間仕切り、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフトレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバヘッドドア、可動間仕切り、トップライト、鋼鉄製ふた

④ 室内空気中の化学物質の濃度測定

(1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
(2) 測定対象室及び測定箇所数は仕上げ表による。
(3) 測定は、パッシブ型採集機器により行う。
(4) 測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。

⑤ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。
撮影部位及び箇所数 形式・サイズ 提出セット数 画素数、画質等 撮影者
外観正面 1箇所 カラー印刷紙キャビネ判 アルバム綴じ※ 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったものの 建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
上記と異なる 外観()箇所 カラー印刷紙キャビネ判 アルバム綴じ※ 1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質
内部()箇所 電子データ(JPEGフルカラー) 任意
注: ※のアルバムは合わせて 冊とし、黒表紙金文字入り、サイズは H320×D300 程度とする。

⑥ 他工事又は他工種との取合い

工事区分表による。これにより難しい場合は監督職員と協議する。

2 仮設工事

1 足場その他 (2.2.4)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

3 土工事

① 増戻し及び盛土 (3.2.3)
増戻し及び盛土の種別
・A種 適用場所()
・B種 適用場所()
・C種 適用場所()土質()受渡場所()
・D種 (細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。)適用場所()
六価クロム溶出試験 ・行う(現場説明書による) ・行わない

2 建設発生土の処理 (3.2.5)
※現場説明書による ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し

③ 山留めの存置 (3.3.3)
存置範囲(※図示)

4 地業工事

5 鉄筋工事

6 コンクリート工事

7 鉄骨工事

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2、5)
ブロックの種類
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ(mm) びゅう呼び寸法(mm) 化粧の有無 適用箇所 備考
※ 空洞ブロック-16 長さ 高さ ・無 ・有
・ ・ ・無 ・有
・ ・ ・無 ・有
各部の配筋 ※図示 ・

2 コンクリートブロック塀及び壁 (8.3.2、3)
ブロックの種類
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ(mm) びゅう呼び寸法(mm) 化粧の有無 (表8.3.1)以外の適用箇所 備考
・ 空洞ブロック-08 長さ 高さ ・無 ・有
・ 空洞ブロック-16 長さ 高さ ・無 ・有
・ 型枠状ブロック 20 長さ 高さ ・無 ・有
・ ・ ・無 ・有
各部の配筋 ※図示 ・

3 ALCパネル (8.4.2~5)
パネルの区分 単位荷重(N/㎡) 厚さ(mm) 長さ(mm) 耐火性能 表面加工 構法の種別
・外壁パネル ・100 ・ ・有(1)時間 ・平 ・意匠 ・A種 ・B種
・間仕切壁パネル ・100 ・ ・有(1)時間 ・平 ・無 ・意匠 ・C種 ・D種 ・E種
・屋根パネル ・100 ・ ・有(0.5)時間 平 F種
・床パネル ・100 ・ ・有()時間
外壁、屋根パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm)
・20・
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する ・適用しない

4 押出成形セメント板 (8.5.2~5)
パネルの種類 表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種別 備考
・外壁パネル ・F(フライング仕様) ・50・60・ ・A種
・D(ドグアイロン仕様) ・50・60 600 ・B種
・T(タイバース仕様) 60
・間仕切壁パネル ・F(フライング仕様) ・50・60・ ・B種
・D(ドグアイロン仕様) ・50・60 600 ・C種
・T(タイバース仕様) 60
外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
パネル相互の目地幅(mm)
※ 長辺 8・短辺 15
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm) ※15
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。
開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合 短辺 ・ ・図示 ・ ・図示
長辺 ・ ・図示 ・ ・図示
パネルを切り欠く場合 短辺 ・ ・図示 ・ ・図示
長辺 ・ ・図示 ・ ・図示

9 防水工事

① アスファルト防水 (9.2.2~5)(表9.2.3~9)
屋根保護防水
防水層の種類
種別 施工箇所 断熱材^② 絶縁用シート 立上り部の保護
・A-1
・A-2
○A-3 ポーチ屋上 ※ポリスチレンフォーム厚さ0.15mm以上・
・B-1
・B-2
・B-3
・A1-1 (材質)※JIS A 9521による押出ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スチレン付き)又はJIS A 9511によるA種押出ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スチレンあり) ※ファットヤーンクロス70g/㎡程度
・A1-2
・A1-3
・B1-1
・B1-2
・B1-3 (厚さ)・25mm・50mm
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上
・乾式保護材
高素系バネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。
(品質・性能)
建築材料等品質性能表による
(試験方法)
建築材料等品質性能表による

屋根露出防水
防水層の種類
種別 施工箇所 断熱材^② 仕上塗料 高日射反射率防水の適用^③
種類 使用量
・D-1
・D-2
・D-3
・D-4
・DI-1 (材質)※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で、透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm
・DI-2
屋根露出防水断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示
屋内防水
防水層の種類
種別 施工箇所 種別 施工箇所
・E-1
保護層 ・設ける(※図示) ・設けない
立上りコンクリート打直し仕上げ
※標準仕様書表6.2.4[打直し仕上げ例]のB種
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工範囲 ※図示)
・適用しない
屋根排水溝 ※図示 ・

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2、3)(表9.3.1~3)
防水層の種類
種別 施工箇所 断熱材^② 防湿層 仕上塗料 高日射反射率防水の適用^③
種類 使用量
・AS-T1
・AS-T2
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・AS-I-T1 (材質)※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で、透湿係数を除く規定に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm
・AS-I-J1
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
押え金物
※改質アスファルト製造所の仕様による

(一財)クリーンいわて事業団

八幡平市平館第2地割 A-01

令和2年度 -

公共関と型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事

特記仕様書 (その1)

縮尺 -

① 合成高分子系
ルーフィングシート
防水

(9.4.2～4) (表 9.4.1～3)

種 別	施工箇所	絶縁用 シートの 材質	断熱材 ㊦	仕上塗料		高日射反 射率防水 の適用㊦
				種類	使用量	
・ S-F 1				・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による	※ 適用 する
・ S-F 2				・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による	
・ S-M 1				・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による	
・ S-M 2						・ 適用 しない
・ S-M 3						
・ S 1-F 1			(材質)※標準仕様書 9.4.2(c)(3)(ii)による ・	・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による	
・ S 1-F 2			(厚さ)・25mm (材質)※標準仕様書 9.4.2(c)(3)(i)による ・	・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による	
・ S 1-M 1				・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による	
・ S 1-M 2		※発泡ポリ エチレンシート ・	(厚さ)・25mm ・			

屋内防水
防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護 モルタル塗り厚さ
		塗り厚さ	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	
・ S-C1	・	・	※標準仕様書 15.2.5(b)(2)及び(3) に準ずる ・	※標準仕様書 15.2.5(c)(1)に準ずる ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ

・

ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表 9.4.1、表 9.4.2 及び 表 9.4.3 による
・
絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質及び寸法形状
※厚さ 0.4mm 以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を
積層加工した鋼板
・
P Cコンクリート部材下地及びA L Cパネル下地で種別 S-C1 の場合の目地処理
・行う (・ 図示) ・行わない
P Cコンクリート部材の入隅部の増張り (種別 S-F1、S1-F1、S-C1 の場合)
・行う (・ 図示) ・行わない
A L Cパネル下地の入隅部の増張り (種別 S-C1 の場合)
・行う (・ 図示) ・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの見張り
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

① 塗膜防水

(9.5.3) (表 9.5.1、2)

種 別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反 射率防水 の適用㊦
		種 類	使用量		
・ X-1		・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による		※ 適用する
○ X-2	ポーチ底 出入口庇 パラベット天端	・ 製造所の 指定による	・ 製造所の 指定による		・ 適用しない
・ Y-1	※地下外壁防水 ・				
・ Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・適用しない	

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※ C-U 1		・ C-U P	

(9.6.1、3) (表9.6.1、2)

防水層の種類	
種別	施工箇所
※ C-U 1	

防水層の種類

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4 D1-1 D1-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS1-T1 AS1-J1	※ アスファルトルーフィング類 製造所の仕様による ・ 個/㎡	※ アスファルトルーフィング 類製造所の仕様による ・ 個/㎡
X-1	・ 防水層の主材料の製造所の仕様 による ・	・ 防水層の主材料の製造所 の仕様による ・ 個/㎡

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1)による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシー
リングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (1)～(3)による

(9.10.3、5)

石材の割付け ※標準10.1.3(a) (1)、(2)による 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ	・ 図示 ・ 図示 ・ 行う (適用場所 ・すべて ・) ・ 行わない
--	--

天然石

(10.2.1、3) (表 10.2.1、2)

施工箇所	品名	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考
	・1等品 ・2等品		※正方形に 近い矩形 ・				
	・1等品 ・2等品		※正方形に 近い矩形 ・				

(10.2.1、2) (10.7.1、3)

取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(c)による 引金物、だば、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による ファスナー ※標準仕様書10.2.2(b)のスライド式に準ずる 吊金物及び化粧吊りボルト ・ 設ける 吊金物 ※ ステンレス (SUS304) 径6mm長さ80mm (加工物) 吊りボルト ・ ステンレス (SUS304) M10化粧ナット付き ・ 設けない	・ 適用する ・ 適用しない ・ 適用しない ・ 図示 ・ 適用する ・
---	---

13
屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

(13.2.2、3)

施工箇所	板及びのの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用34φ			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺	

下葺材料

- ・アスファルトルーフィング 940
- ・改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ・複層材タイプ・粘着層付タイプ）

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

雪止め ・設置する（施工箇所 ・図示 ・）

② 折板葺

(13.2.2) (13.3.2、3) (表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山形による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
屋根	・重ね形 ○はぎの端形 ・かん合形	山高 山形	()種	※鋼板製 ・7&ミム合金板製	0.35	・有り ○無し	○30分 ・無し

材料

板及びコイルの種類（カラーガルバリウム鋼板 ・）

塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（断熱材 ○有り（種別：発泡ウレタン 厚さ(mm)：30 防火性能：0.5時間） ・無し

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

3 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類		大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分			・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない

瓦葺木 材質 ※杉又はひのき ・
寸法 ※幅21×高さ15(mm) ・
棟補強用心材 材質 ※杉又はひのき ・
寸法 ※幅40×高さ30(mm) ・

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

瓦葺木の留付け工法 ※図示 ・

棟の工法 ※標準仕様書13.4.3(d) (1)～(4)による ・

① とい

(13.5.2、3) (表 13.5.5)

といの材種 ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ・
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
鋼管製といの防露巻き ・適用する（工法：※標準仕様書表13.5.5による ・）
・適用しない

ルーフトレン

種別	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型・横型）	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

14
金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※ H L 程度	手すり
・鏡面仕上げ程度	
・ No2B 程度	

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2) (表 14.2.1)

種別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
○A-1種	※AA15 ・	外部天井
・A-2種（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）	※AA15 ・	
・B-1種	※B ・	
・B-2種（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）	※B ・	
・C-1種	※AA6 ・	
・C-2種（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）	※AA6 ・	
・D種		
・		

陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・ 三次電解着色

3 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3) (表14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 ・ F 種	

15
左官工事

④ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4) (表14.4.1)

野縁等の種類

屋外（※ 25 形 ・ 19 形） 屋内（※ 19 形 ・ 25 形）

○屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の（○1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・図示 ・

周辺部の端からの間隔 ・図示 ・

野縁の間隔 ・図示 ・

○吊りボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 ※図示 ・

○天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合

補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h) (1)～(2)による ・図示

・天井のふところが3.0mを超える場合

補強方法 ※図示 ・

○天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 ・図示 ・

補強方法 ※図示 ・

⑤ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3) (表 14.5.1)

スタッド、ランナーの種類

※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示

スタッドの高さが 5.0 m を超える場合 ※図示 ・

6 金属成形板張り

(14.6.2、3) (表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	皮膜等の種類			
・7&ミム	・押出し	山形				種別	※B ・			
	・ロール					・B-2種（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）	※B ・			
	・プレス	パネル形				・C-1種	※AA6 ・			
	・					・C-2種（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）	※AA6 ・			
	・					・D種				
	・									
	・									
	・									
	・									
	・									
取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示										
伸縮調整継手 ・設ける（施工箇所 ・図示 ・） ・設けない										

7 アルミニウム製笠木

(14.7.2、3) (表 14.2.1) (表 14.7.1)

種類 ・250形 ・300形 ・350形

表面処理 種別（ ）種 皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による ・）

着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）

笠木の固定金具の工法等

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 手すり及びタラップ

(14.8.2、3)

手すり ○ステンレス製 SUS304（表面処理 ※H L 程度 ・No.2B程度 ・）

・鋼製（表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 ・）

タラップ ・ステンレス製 SUS304（表面処理 ※研磨なし ・）

・鋼製（表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種 ・）

16
建具工事

① 防火戸

(16.1.3)

※ 建具表による ・

② 見本の製作等

(16.1.4)

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
○行わない

建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する

・納まり等が分かる程度のもの

特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
・行わない

3 防犯建物部品

(16.1.6)

・適用する（※ 建具表による ・）
・適用しない

④ アルミニウム製建具

(16.2.2、4、5) (表14.2.1)

性能等級

外部に面する建具 ○A種（建具符号：※建具表による ・）
・B種（建具符号：※建具表による ・）
・C種（建具符号：※建具表による ・）

防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・）
○適用しない
（建具符号：・建具表による ・）

断熱ドアセット、断熱サッシ ㊦ ○適用する 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・）
○適用しない
（建具符号：・建具表による ・）

耐震ドアセット ○適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・）
○適用しない
（建具符号：・建具表による ・）

枠の見込み寸法 ○建具表による ・

表面処理

外部に面する建具 ○B-1種 ・B-2種 ・

皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による ・）

着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）
・C-1種 ・C-2種 ・

皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による ・）

着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）

結露水の処理方法 ※図示 ・

水切り板、ぜん板 ※図示 ・

⑥ 網戸等

(16.2.3)

種類	材種	線径	網目
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

性能等級

外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による ・）
・B種（建具符号：・建具表による ・）
・C種（建具符号：・建具表による ・）

防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ・T-1 ・T-2 ）
（建具符号：・建具表による ・）
・適用しない
（建具符号：・建具表による ・）

断熱ドアセット、断熱サッシ ㊦ ○適用する 断熱性の等級（ ・H-4 ・H-5 ・H-6 ）
（建具符号：・建具表による ・）
・適用しない
（建具符号：・建具表による ・）

耐震ドアセット ○適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・）
・適用しない

6 樹脂製建具

(16.2.5) (16.3.2～5)

性能等級

外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による ・）
・B種（建具符号：・建具表による ・）
・C種（建具符号：・建具表による ・）

防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ・T-1 ・T-2 ）
（建具符号：・建具表による ・）
・適用しない
（建具符号：・建具表による ・）

断熱ドアセット、断熱サッシ ㊦ ○適用する 断熱性の等級（ ・H-4 ・H-5 ・H-6 ）
（建具符号：・建具表による ・）
・適用しない
（建具符号：・建具表による ・）

耐震ドアセット ○適用する 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・）
・適用しない

17
木製建具

⑩ 木製建具

(16.7.2～4)

建具材の加工、総立時の含水率 ※B種 ・

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

・フラッシュ戸

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 ㊦	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※777程度 ・） 不透明塗料塗り （※しな程度 ・） 板面の品質（ ） 接着の程度（・1種 ・2種） 防虫処理 ・行う	
・天然木 化粧合板 ㊦	樹種名（ ） 接着の程度（・1種 ・2種） 防虫処理 ・行う	
・特殊加工 化粧合板 ㊦	化粧加工の方法 （・オーベル・ブリット・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1種 ・2種） 防虫処理 ・行う	

表面板の厚さ ※表16.7.6による ・

・かまち戸

かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）

見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・

○ふすま

張りの種別（○I型 ・II型）

上張り（押入等の裏側以外） ・角の子 ○新島の子又はビニル紙程度

縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ○生地縁（ウレタンクリヤー塗装）

見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・

・戸ふすま

見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

○紙張り障子

見込み寸法 ※30mm

・建具表による ・

枠及びくつずりの材料 ・建具表による ・

（一財）クリーンいわて事業団

八幡平市平第2地割

A-03

令和2年度

—

公共関与型産業廃棄物最終処分場
土木施設建設工事

特記仕様書（その3）

縮 尺

—

（一財）クリーンいわて事業団	
八幡平市平館第2地割	A-03
令和2年度	—
公共間与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事	
特記仕様書（その3）	
縮 尺	—

⑪

建具用金物

(16.8.2、3)(表16.8.1)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による・
樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による・

○錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】
(品質)
デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。
(性能)
建築材料等品質性能表による

○錠前類 【レバーハンドル】
(性能)
建築材料等品質性能表による

○クローザ類
(品質・性能)
建築材料等品質性能表による
(試験方法)
建築材料等品質性能表による

⑫

鍵

(16.8.4)

マスターキー ○製作する・製作しない
その他の鍵 ※各室3本1組・
鍵箱 ※有・無

⑬

自動ドア開閉機構

(16.9.2、3)(表16.9.1、2)

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD-1	※標準仕様書表16.9.1による	・適用する ○適用しない	・マットスイッチ ○光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トレスイッチ	・行う (適用箇所は 建具表による) ○行わない
・SSLD-2	・			
・DSL-1	・			
・DSL-2	・			
・SMD-1	※標準仕様書表16.9.2による			
・SMD-2	・			
・図示	・			

(品質・性能)
建築材料等品質性能表による
(試験方法)
建築材料等品質性能表による

⑭

自閉式上吊り引戸装置

(16.10.3)

性能 ※標準仕様書表16.10.1による・
(試験)
建築材料等品質性能表による

⑮

重量シャッター

(16.11.2、3)

シャッターの種類	耐風圧強度
・管理用シャッター	耐風圧強度 () N/m ²
○外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用)・上部手動式
管理用シャッターのシャッターケース ○設ける・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ○JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※Z12又はF12・

16

軽量シャッター

(16.12.2~4)

開閉形式 ※手動式・上部電動式(手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
スラットの材質
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっき付着量 (※Z06又はF06・)
・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)
めっき付着量 (※AZ90・)
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

17

オーバードア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧 区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

⑯

ガラス

(16.14.2~4)(表16.14.1)

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。

合わせガラス	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-Ⅰ類・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

強化ガラス	種類	性能
材料板ガラスによる種類 ○フロートガラス	○フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	

熱線吸収板ガラス	性能	色調
品 種		
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス	・1種・2種	・ブルー・グレー・ブロンズ

19

ガラスブロック

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調乳白	目地幅(mm)	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	※8～15	外側 ※15以下	※無し・有り
	・160×160	・95 ・125	・	・15～25	・幅10～25	
	・200×200	・95 ・125	・		内側 ※6以上	
	・320×320	95	・			
・長方形	・250×125	80	・			
	・320×160	95	・			

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示・)
・設けない
カ骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)・
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状横筋及び単筋・
化粧目地モルタルの色 ()
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 アルミニウム製
寸法 ※図示・
形状 ※図示・

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地のカ骨の補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による・図示・

2

メタルカーテンウォール

3

P Cカーテンウォール

(17.2.2、3、5)

材料	規格等	映像調整
※標準仕様書表16.2.3による	・A-1種・A-2種・ 皮膚等の種類(※標準仕様書表14.2.1による・) 着色 (・ファビ・・プロダ・ブラックス・スター)	・行う ・行わない
※アルミニウム製		
・		

製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1～3による
ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による・

18

塗装工事

①

材料

(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外・
・防火材料 ※室内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

②

素地こしらえ

(18.2.2~7)

下地面等	種類
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種 透明塗りの場合 ※B種・A種
鉄鋼面	※C種・A種・B種
垂れもつ鉄鋼面	・A種・B種
モルタル面及びプラスター面	※B種・A種
コンクリート面(D P以外)及びALCパネル面	※B種・A種
押出成形セメント版面	・A種・B種
せつこうボード面及びその他	目地：縫目処理工法 ※A種・B種 ボード面 目地：縫目処理工法以外 ※B種・A種

③

錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面等	工程の種類	塗料の種類
鉄鋼面	見え掛け部分 ※A種・B種 見え隠れ部分 ※B種・A種	
垂れもつ鉄鋼面	鋼製建具 ※A種・B種 鋼製建具以外 ※B種・A種	・A種・B種 ・C種

④

塗装

(18.4.1~18.14.2)

塗装	種類	塗料の種類
○合成樹脂割合ベイント塗り(SOP)	木部屋外 ※A種・B種 ※1種・2種 木部屋内 ※B種・A種 ※1種・2種 鉄鋼面 ※B種・A種 ※1種・2種 垂れもつ鉄鋼面 — ※1種・2種	
・クリヤラッカー塗り(CL)	※B種・A種	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	※B種・A種	—
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 — 垂れもつ鉄鋼面 — コウリト面及び押出成形セメント版面 A種・B種・C種	上塗り等級 ()級 上塗り等級 ()級
・つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り(E P-G)	コウリト面、モルタル面、フラッシュ面、せつこうボード面、その他ボード面等	※B種・A種
・合成樹脂エマルジョンベイント塗り(E P)	屋内の鉄鋼面	※B種・A種
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(E P-T)		—
・ウレタン樹脂ワニス塗り(U C		

①

接着剤

(19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類・図示・

②

ビニル床シート

(19.2.2、3)

種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
○ 発泡層のないもの	※FS(複層ビニル床シート)	仕上表参照	・無地 ○オパール柄	○帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0	
・ 発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物	○防汚性 ・耐薬品性	・	

工法 ※熱溶接工法・突付け(施工箇所：)
特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷～1×10¹⁰Ω程度

3

ビニル床タイル

(19.2.2)

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法(mm)	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・F T (複層ビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	※2.0 ・2.5 ・3.0	
・K T (コバデジジョビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	・2.0 ・3.0	
・F O A (置敷きビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防汚性	・	

特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷～1×10¹⁰Ω程度

④

ビニル幅木

5

ゴム床タイル

(19.2.2)

色柄 ()
厚さ(mm) ・3.0・4.5・6.0・9.0
寸法(mm) ()

⑥

カーベット敷き

(19.3.3、4)(表19.3.1)

種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・A種	・カバハイル	・ウルトンカーベット	・無地	・適用する	(性能：※人体帯電圧3kV以下・) ・適用しない
・B種	・ルーフハイル	・ダブメウスカーベット	・柄物		
・C種	・カバ、ルーフ併用	・7メシシカーベット	(標準品)		

下敷き材
※反モフェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm・

・タフテッドカーベット
バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考
・カバハイル ・5～7 ・※全面接着工法 ・適用する
・ルーフハイル ・4～6 ・・グリップ工法 (性能：※人体帯電圧3kV以下・)
・ルーフハイル ・4 ・
・カバ、ルーフ併用 ・
・

7

合成樹脂塗床

(19.4.2、3)(表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (強性ルビ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ
・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	工程 塗布量 (kg/m ²) ※0.25kg/m ² 以上 表面仕上げ ※平滑・防滑 溶剤 ※水性・溶剤系・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色・

塗料のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外・

4

(一財)クリーンいわて事業団

八幡平市平第2地割

A-04

令和2年度

—

公共関与型産業廃棄物最終処分場土木施設建設工事

特記仕様書(その4)

縮尺

—

8フロアリング張り	単層フロアリング <small>(19.5.2～6) (表 19.5.1～5)</small>	① 畳敷き
	複合フロアリング <small>(19.5.2～6) (表 19.5.1～5)</small>	
⑩ せっこうボードその他のボード張り	フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 接着工法の場合の裏面繊維材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ 行わない	⑩ せっこうボードその他のボード張り
	フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 接着工法の場合の裏面繊維材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ 行わない	
20ユニット及びその他の工事	種別 ・ A種 ・ B種 ○C種 ・ D種 (畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム <small>(19.7.2, 3)</small>) 量表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	20ユニット及びその他の工事
	種別 ・ A種 ・ B種 ○C種 ・ D種 (畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム <small>(19.7.2, 3)</small>) 量表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。	
2可動間仕切	遮音シール材 ・ 適用する (・シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ・ 適用しない 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 合板類の張付け ※B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 仕上表による ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 壁紙の種類 紙 織 繊維 フタナリ 無機質 その他 防火性能 備考 室内壁全般 ・ ・ ○ ・ ・ ※ 不燃 ・ 準不燃 ・ ・ ・ ・ ・ ※ 不燃 ・ 準不燃 ・ ・ ・ ・ ・ ※ 不燃 ・ 準不燃 ・ ・ ・ ・ ・ ※ 不燃 ・ 準不燃 モルタル・プラスター面の素地ごしえ ※B種 ・ A種 コンクリート・ALC面の素地ごしえ ※B種 ・ A種 せっこうボード面の素地ごしえ ※B種 ・ A種 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ○断熱材打込み工法 種 類 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・ ・ ○ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) ○ 75 ○屋根、外壁、スラブ下 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ ・ ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ・ ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・ ・ ○ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・ 保温板 (2種b) ・ 25 ・ ・ 保温板 (3種b) ・ 25 ○75 ・ 接合部分 ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ ・ ・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) ・ ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1 厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示 ・ ・ 現場発泡断熱材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	2可動間仕切
	フリーアクセスフロア (20.2.2) 施工箇所 構 法 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 (N) 表面仕上材 備考 ・ 置敷式 ・ 500×500 ・ 1.0G ・ 3000 ・ 帯電防止仕様 ・ 支柱 ・ 0.6G ・ 5000 ・ タイル・ベット 調整式 ・ 置敷式 ・ 500×500 ・ 1.0G ・ 3000 ・ 帯電防止仕様 ・ 支柱 ・ 0.6G ・ 5000 ・ タイル・ベット 調整式 ・ 置敷式 ・ 500×500 ・ 1.0G ・ 3000 ・ 帯電防止仕様 ・ 支柱 ・ 0.6G ・ 5000 ・ タイル・ベット 調整式 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(b) (5) (i)～(iii)による ・ 厚さ ±0.5mm 平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下 圆心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下 表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ：・) ・ スロープ及びボーダー ・ 製造所の仕様による ・ 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・ 20～30パーセント ・ 配線取り出し開口 ・ パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・ 図示 空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・ なし ・ あり (形式、施工箇所：図示) (性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	
11煙突ライニング	煙突用成形ライニング材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	11煙突ライニング
	煙突用成形ライニング材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	
12ブラインド	構造形式 操作方法 圧接装置の操作方法 総厚さ (mm) 材質 パネル表面仕上げ 遮音性 (dB/500Hz) ・ 平行方向 移動式 ・ 手動式 ・ プッシュ式 ・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 36未満 ・ 二方向 移動式 ・ 電動式 ・ ハンドル式 ・ 壁紙張り ・ 36以上 ・ 部分電動式 ・ パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・ 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による	12ブラインド
	構造形式 操作方法 圧接装置の操作方法 総厚さ (mm) 材質 パネル表面仕上げ 遮音性 (dB/500Hz) ・ 平行方向 移動式 ・ 手動式 ・ プッシュ式 ・ 鋼板 ・ 焼付塗装 ・ 36未満 ・ 二方向 移動式 ・ 電動式 ・ ハンドル式 ・ 壁紙張り ・ 36以上 ・ 部分電動式 ・ パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・ 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による	
13ロールスクリーン	表面材の種類 脚部 形状 形状 材質 ○ メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・ ○ 標準 ・ アルミニウム製 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ R ○ ステンレス製 ・ 表面材と同材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	13ロールスクリーン
	表面材の種類 脚部 形状 形状 材質 ○ メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・ ○ 標準 ・ アルミニウム製 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ R ○ ステンレス製 ・ 表面材と同材 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による	
14カーテン	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ (11.2.2) (19.2.2) 施工箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 ・ 塩化ビニル製 ・ 300×300 ・ 7.0 ・ ・ セラミックタイル <small>(19.2.2)</small> (・ I 類 (磁器質) ・ II 類 (せっ器質)) ・ 300×300 ・ ※無ゆ ・ レジンコンクリート製 ・ 300×300 ・ ・ コンクリート製 ・ ・ セラミックタイル <small>(19.2.2)</small> (・ I 類 (磁器質) ・ II 類 (せっ器質)) ・ 300×300 ・ ※無ゆ ・ レジンコンクリート製 ・ 300×300 ・ ・ コンクリート製 ・ ブロックパターンは JIS T 9251 による	14カーテン
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ (11.2.2) (19.2.2) 施工箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 備考 ・ 塩化ビニル製 ・ 300×300 ・ 7.0 ・ ・ セラミックタイル <small>(19.2.2)</small> (・ I 類 (磁器質) ・ II 類 (せっ器質)) ・ 300×300 ・ ※無ゆ ・ レジンコンクリート製 ・ 300×300 ・ ・ コンクリート製 ・ ・ セラミックタイル <small>(19.2.2)</small> (・ I 類 (磁器質) ・ II 類 (せっ器質)) ・ 300×300 ・ ※無ゆ ・ レジンコンクリート製 ・ 300×300 ・ ・ コンクリート製 ・ ブロックパターンは JIS T 9251 による	
15カーテンレール	材種 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 形式 ・ シングル ・ ダブル ・ 片引き ・ 引分け 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形 溝型×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材質 ○集成材 (仕上げ： ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 表面処理 ・ C-1 ・ C-2 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) ・ 皮膚等の種類 ※標準仕様書表14.2.11による ・ ・ 鋼製 (仕上げ： ・)	15カーテンレール
	材種 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 形式 ・ シングル ・ ダブル ・ 片引き ・ 引分け 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形 溝型×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材質 ○集成材 (仕上げ： ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 表面処理 ・ C-1 ・ C-2 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) ・ 皮膚等の種類 ※標準仕様書表14.2.11による ・ ・ 鋼製 (仕上げ： ・)	
⑬ブラインドボックス及びカーテンボックス	材種 幅 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド ・ ステンレス製 (SUS304) ビニル ・ 約35 ・ ※接着工法 ・ あり ・ ビニル製 タイヤ入り ・ 埋込み工法 ・ なし ・ ステンレス製 ・ ・	⑬ブラインドボックス及びカーテンボックス
	材種 幅 (mm) 取付け工法 端部フラットエンド ・ ステンレス製 (SUS304) ビニル ・ 約35 ・ ※接着工法 ・ あり ・ ビニル製 タイヤ入り ・ 埋込み工法 ・ なし ・ ステンレス製 ・ ・	
⑰天井点検口	材種 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 備考 ・ 集成材 ・ クリアラッカー ・ 35 ・ 45 ・ ○ステンレスパイプ ○H L ・ ○42.7 ・ 鋼製パイプ ・ EP-G ・ SOP ・ ・ ビニル製ハンドルレール ・	⑰天井点検口
	材種 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 備考 ・ 集成材 ・ クリアラッカー ・ 35 ・ 45 ・ ○ステンレスパイプ ○H L ・ ○42.7 ・ 鋼製パイプ ・ EP-G ・ SOP ・ ・ ビニル製ハンドルレール ・	
⑱床点検口	種 類 寸法 (mm) 色 彩 形 式 ・ 黒板 ※ 焼付け ・ ※ 緑 ・ 黒 ・ 平面 ・ 曲面 ・ スリッ付引分 ・ ○ ホワイトボード ほうろう 白 ○ 平面 ・ 曲面 ・ スリッ付引分 ・	⑱床点検口
	種 類 寸法 (mm) 色 彩 形 式 ・ 黒板 ※ 焼付け ・ ※ 緑 ・ 黒 ・ 平面 ・ 曲面 ・ スリッ付引分 ・ ○ ホワイトボード ほうろう 白 ○ 平面 ・ 曲面 ・ スリッ付引分 ・	
19耐震スリット	区分 材質 寸法・形状 (mm) 厚さ (mm) 取付高さ (mm) 備考 ・ 衝突防止表示 ・ ステンレス製 ・ 30φ ・ 市販品 ・ 図示 (・ 両面 ・ 片面) ・ 図示 ・ ・ 室名札 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ ピクトグラフ ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ とびら番号 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ 庁舎案内板 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ 各階案内板 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・	19耐震スリット
	区分 材質 寸法・形状 (mm) 厚さ (mm) 取付高さ (mm) 備考 ・ 衝突防止表示 ・ ステンレス製 ・ 30φ ・ 市販品 ・ 図示 (・ 両面 ・ 片面) ・ 図示 ・ ・ 室名札 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ ピクトグラフ ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ とびら番号 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ 庁舎案内板 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・ 各階案内板 ・ アクリル板 ・ 図示 ・ 5 ・ 図示 ・ ・	
21エキスパンション・ジョイント金物	材 種 躯体間クリアランス (mm) 仕上材間クリアランス (mm) 変位追従性能 (mm) 耐火性能 備考 ・ アルミニウム製 ・ 50 ・ ・ ステンレス製 ・ 100 ・ 150	21エキスパンション・ジョイント金物
	材 種 躯体間クリアランス (mm) 仕上材間クリアランス (mm) 変位追従性能 (mm) 耐火性能 備考 ・ アルミニウム製 ・ 50 ・ ・ ステンレス製 ・ 100 ・ 150	
㉔くつふきマット	材種 受け枠 備考 ・ 塩化ビニル又はゴム製 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ 硬質アルミニウム合金 ○ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・	㉔くつふきマット
	材種 受け枠 備考 ・ 塩化ビニル又はゴム製 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ 硬質アルミニウム合金 ○ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・	
	(一財)クリーンいわて事業団 八幡平市平館第2地割 A-05 令和2年度 ー 公共関与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事 特記仕様書 (その5) 縮 尺 ー	
	(一財)クリーンいわて事業団 八幡平市平館第2地割 A-05 令和2年度 ー 公共関与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事 特記仕様書 (その5) 縮 尺 ー	

20	流し台ユニット	<table><tr><th rowspan="2">ユニット分類</th><th colspan="3">寸法 (mm)</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>W</th><th>D</th><th>H</th></tr><tr><td>○流し台</td><td>○1200 ・1500 ・1800</td><td>・550 ○600 ・650</td><td>・800 ○850</td><td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製 IH対応口</td></tr><tr><td>・コンロ台</td><td>・600</td><td>・550 ・600 ・650</td><td>・620 ・670</td><td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td></tr><tr><td>○つり戸棚</td><td>・1200 ・900 ○600</td><td>○450</td><td>・500 ○700</td><td>市販品 レンジフード W600</td></tr><tr><td>○水切り</td><td>○1200 ・900 ・600</td><td>－</td><td>－</td><td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td></tr></table> <p>品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示</p>	ユニット分類	寸法 (mm)			備考	W	D	H	○流し台	○1200 ・1500 ・1800	・550 ○600 ・650	・800 ○850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製 IH対応口	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	○つり戸棚	・1200 ・900 ○600	○450	・500 ○700	市販品 レンジフード W600	○水切り	○1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式	21	排水工事	① 屋外雨水排水	<table><tr><th colspan="2">材料</th><th colspan="4">(21.2.1、2) (表 21.2.1、2)</th></tr><tr><th rowspan="2">材質</th><th rowspan="2">材 種</th><th colspan="2">管の種類</th><th>形状</th><th>呼び径</th></tr><tr><th colspan="2">※ 外圧管（1種）</th><th>・B形管</th><th>※図示</th></tr><tr><td>・造心力鉄筋コンクリート管</td><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td colspan="2">○ VP</td><td>※図示</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2">・ VU</td><td>※図示</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="2">・ RS-VU</td><td>※図示</td><td>・</td></tr></table> <p>基礎の厚さ及び種類 ・ 図示 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 ・</p> <p>側境の形状及び寸法 ・ 図示 ・ 排水管の種類 ・ 図示 ・</p> <p>砂地業に用いる材料 ※ 標準仕様書 (21.2.1) (g) (1) による ・ 図示 砂利地業に用いる材料 ※ 標準仕様書 (21.2.1) (g) (2) による ・ 図示</p> <p>コンクリート基礎等に用いる材料 ※ 標準仕様書 6章14節により、設計基準強度 18N/mm² とする。 ただし、コンクリートが簡易な場合の調査（容積比）は、セメント1：砂2：砂利4程度とする。 ・ 図示</p> <p>凍上抑制層の厚さ ・ 図示 ・ (21.2.1) (表21.2.2) 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない</p>	材料		(21.2.1、2) (表 21.2.1、2)				材質	材 種	管の種類		形状	呼び径	※ 外圧管（1種）		・B形管	※図示	・造心力鉄筋コンクリート管	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP		※図示	・			・ VU		※図示	・			・ RS-VU		※図示	・	22	舗装工事	① 路床	<table><tr><th colspan="2">路床の材料</th><th colspan="4">(22.2.2、3、5) (表22.2.1)</th></tr><tr><th rowspan="2">種 別</th><th rowspan="2"></th><th colspan="4">材 料</th></tr><tr><th colspan="4">厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td></td><td colspan="4">・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="4">・建設汚泥から再生した処理土</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td></td><td colspan="4">・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="4">・切込み砂利</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="4">・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td></td><td colspan="4">・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td></tr><tr><td></td><td></td><td colspan="4">・</td></tr></table> <p>・路床安定処理（添加材料による安定処理） 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ・特号 ・1号） ・消石灰（ ・特号 ・1号） ・固化石（ ・セメント系 ・石灰系） 添加量 ・ kg/m² (目標CBR ・3以上 ・)</p>	路床の材料		(22.2.2、3、5) (表22.2.1)				種 別		材 料				厚さ (mm)				・盛土		・A種 ・B種 ・C種 ・D種						・建設汚泥から再生した処理土				・凍上抑制層		・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン						・切込み砂利						・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)				・フィルター層		・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)						・				23	舗装工事	② 路盤	<table><tr><th colspan="2">路盤の構成及び厚さ</th><th colspan="4">※ 図示 ・ (22.3.2、3、5) (表22.3.1)</th></tr><tr><th colspan="2">路盤材料</th><th colspan="4">種 別</th></tr><tr><td rowspan="2">・砕石</td><td rowspan="2"></td><td colspan="4">・クラッシャーラン</td></tr><tr><td colspan="4">・粒度調整砕石</td></tr><tr><td rowspan="2">再生材</td><td rowspan="10"></td><td colspan="4">・クラッシャーラン</td></tr><tr><td colspan="4">・粒度調整砕石</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">・クラッシャーラン鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">・粒度調整鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td></tr></table> <p>試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う（箇所） ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う（箇所） ・ 行わない 安定処理土のCBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固めの試験 ・ 行う（箇所） ・ 行わない 六価クロム溶出試験 ・ 行う（現場説明書による） ・ 行わない</p>	路盤の構成及び厚さ		※ 図示 ・ (22.3.2、3、5) (表22.3.1)				路盤材料		種 別				・砕石		・クラッシャーラン				・粒度調整砕石				再生材		・クラッシャーラン				・粒度調整砕石						・クラッシャーラン鉄鋼スラグ						・粒度調整鉄鋼スラグ						・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ				24	舗装工事	③ アスファルト舗装	<table><tr><th colspan="2">アスファルト舗装の構成及び厚さ</th><th colspan="4">※ 図示 ・ (22.4.2～6) (表22.4.4、5)</th></tr><tr><th colspan="2">アスファルト舗装の構成及び厚さ</th><th colspan="4">※ 図示 ・</th></tr><tr><th colspan="2">材料</th><th colspan="4">アスファルト ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト</th></tr><tr><th colspan="2">骨材</th><th colspan="4">・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材</th></tr><tr><th colspan="2">アスファルト乳剤</th><th colspan="4">・プライムコート (1.5ℓ/m²) ・タックコート (0.4ℓ/m²)</th></tr></table> <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <table><tr><th>区分</th><th>地域</th><th>種類</th></tr><tr><td rowspan="2">・表層</td><td rowspan="2">・一般地域</td><td>・密粒度アスファルト混合物(13)</td></tr><tr><td>・細粒度アスファルト混合物(13)</td></tr><tr><td rowspan="2">・基層</td><td rowspan="2">・寒冷地域</td><td>密粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr><tr><td>粗粒度アスファルト混合物(20)</td></tr></table> <p>配合</p> <table><tr><th rowspan="2">ふるいの呼び名</th><th colspan="2">ふるい通過質量百分率（％）</th></tr><tr><th colspan="2">粗粒度アスファルト混合物（20）</th></tr><tr><td>26.5 mm</td><td colspan="2">100</td></tr><tr><td>19.0 mm</td><td colspan="2">95 ～ 100</td></tr><tr><td>13.2 mm</td><td colspan="2">70 ～ 90</td></tr><tr><td>4.75 mm</td><td colspan="2">35 ～ 55</td></tr><tr><td>2.36 mm</td><td colspan="2">20 ～ 35</td></tr><tr><td>600 μm</td><td colspan="2">11 ～ 23</td></tr><tr><td>300 μm</td><td colspan="2">5 ～ 16</td></tr><tr><td>150 μm</td><td>4 ～ 12</td></tr></table>	アスファルト舗装の構成及び厚さ		※ 図示 ・ (22.4.2～6) (表22.4.4、5)				アスファルト舗装の構成及び厚さ		※ 図示 ・				材料		アスファルト ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト				骨材		・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材				アスファルト乳剤		・プライムコート (1.5ℓ/m ²) ・タックコート (0.4ℓ/m ²)				区分	地域	種類	・表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13)	・細粒度アスファルト混合物(13)	・基層	・寒冷地域	密粒度アスファルト混合物(13F)	粗粒度アスファルト混合物(20)	ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（％）		粗粒度アスファルト混合物（20）		26.5 mm	100		19.0 mm	95 ～ 100		13.2 mm	70 ～ 90		4.75 mm	35 ～ 55		2.36 mm	20 ～ 35		600 μm	11 ～ 23		300 μm	5 ～ 16		150 μm	4 ～ 12
ユニット分類	寸法 (mm)			備考																																																																																																																																																																																																																																																													
	W	D	H																																																																																																																																																																																																																																																														
○流し台	○1200 ・1500 ・1800	・550 ○600 ・650	・800 ○850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製 IH対応口																																																																																																																																																																																																																																																													
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																													
○つり戸棚	・1200 ・900 ○600	○450	・500 ○700	市販品 レンジフード W600																																																																																																																																																																																																																																																													
○水切り	○1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式																																																																																																																																																																																																																																																													
材料		(21.2.1、2) (表 21.2.1、2)																																																																																																																																																																																																																																																															
材質	材 種	管の種類		形状	呼び径																																																																																																																																																																																																																																																												
		※ 外圧管（1種）		・B形管	※図示																																																																																																																																																																																																																																																												
・造心力鉄筋コンクリート管	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	○ VP		※図示	・																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ VU		※図示	・																																																																																																																																																																																																																																																												
		・ RS-VU		※図示	・																																																																																																																																																																																																																																																												
路床の材料		(22.2.2、3、5) (表22.2.1)																																																																																																																																																																																																																																																															
種 別		材 料																																																																																																																																																																																																																																																															
		厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																															
・盛土		・A種 ・B種 ・C種 ・D種																																																																																																																																																																																																																																																															
		・建設汚泥から再生した処理土																																																																																																																																																																																																																																																															
・凍上抑制層		・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン																																																																																																																																																																																																																																																															
		・切込み砂利																																																																																																																																																																																																																																																															
		・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)																																																																																																																																																																																																																																																															
・フィルター層		・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)																																																																																																																																																																																																																																																															
		・																																																																																																																																																																																																																																																															
路盤の構成及び厚さ		※ 図示 ・ (22.3.2、3、5) (表22.3.1)																																																																																																																																																																																																																																																															
路盤材料		種 別																																																																																																																																																																																																																																																															
・砕石		・クラッシャーラン																																																																																																																																																																																																																																																															
		・粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																															
再生材		・クラッシャーラン																																																																																																																																																																																																																																																															
		・粒度調整砕石																																																																																																																																																																																																																																																															
		・クラッシャーラン鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																																																																															
		・粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																																																																															
		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																																																																																															
アスファルト舗装の構成及び厚さ		※ 図示 ・ (22.4.2～6) (表22.4.4、5)																																																																																																																																																																																																																																																															
アスファルト舗装の構成及び厚さ		※ 図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																															
材料		アスファルト ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト																																																																																																																																																																																																																																																															
骨材		・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材																																																																																																																																																																																																																																																															
アスファルト乳剤		・プライムコート (1.5ℓ/m ²) ・タックコート (0.4ℓ/m ²)																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	地域	種類																																																																																																																																																																																																																																																															
・表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																																																																																																																																																															
		・細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																																																																																																																																																																																															
・基層	・寒冷地域	密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																																																																																																																																																															
		粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																																																																																																																																																																																																															
ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（％）																																																																																																																																																																																																																																																																
	粗粒度アスファルト混合物（20）																																																																																																																																																																																																																																																																
26.5 mm	100																																																																																																																																																																																																																																																																
19.0 mm	95 ～ 100																																																																																																																																																																																																																																																																
13.2 mm	70 ～ 90																																																																																																																																																																																																																																																																
4.75 mm	35 ～ 55																																																																																																																																																																																																																																																																
2.36 mm	20 ～ 35																																																																																																																																																																																																																																																																
600 μm	11 ～ 23																																																																																																																																																																																																																																																																
300 μm	5 ～ 16																																																																																																																																																																																																																																																																
150 μm	4 ～ 12																																																																																																																																																																																																																																																																

7	半たわみ性舗装	半たわみ舗装（車路、駐車場）の構成及び厚さ ※図示 (22.3.2、3、5) (表22.3.1) <table> <tr> <th>区分</th><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr> <td>表層</td><td>半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)</td><td>40</td></tr> <tr> <td>基層</td><td>再生粗粒度アスファルト混合物(20)</td><td>40</td></tr> </table> <p>試験 半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>材料 浸透用セメントミルクの標準的な性状</p> <table> <tr> <th>項目</th><th>性状</th><th>試験方法</th></tr> <tr> <td>フロー値（Pロート） 砂</td><td>10～14</td><td>舗装調査・試験法便覧（0041）</td></tr> <tr> <td>圧縮強度（7日養生） MPa</td><td>9.8～29.4</td><td>JIS R 5201</td></tr> <tr> <td>曲げ強度（7日養生） MPa</td><td>2.0以上</td><td>舗装調査・試験法便覧（0042）</td></tr> </table> <p>配合 半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合</p> <table> <tr> <th>ふるいの呼び名</th><th>ふるい通過質量百分率（％）</th></tr> <tr> <td>19mm</td><td>100</td></tr> <tr> <td>13.2mm</td><td>95～100</td></tr> <tr> <td>4.75mm</td><td>10～35</td></tr> <tr> <td>2.36mm</td><td>5～22</td></tr> <tr> <td>600μm</td><td>4～15</td></tr> <tr> <td>300μm</td><td>3～12</td></tr> <tr> <td>75μm</td><td>1～6</td></tr> <tr> <td>アスファルト量（％）</td><td>3.0～4.5</td></tr> </table> <p>半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値</p> <table> <tr> <th>項目</th><th>基準値</th></tr> <tr> <td>密度（g/cm3）</td><td>1.90以上</td></tr> <tr> <td>安定度（kN）</td><td>2.94以上</td></tr> <tr> <td>フロー値（1/100cm）</td><td>20～40</td></tr> <tr> <td>空隙率（％）</td><td>20～28</td></tr> <tr> <td>突固め回数（回）</td><td>50</td></tr> </table> <p>施工 アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。 浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による (1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。 (2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラ等により行う。 (3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、珪砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。 (4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。</p> <table> <tr> <th>セメントミルクの種類</th><th>養生期間</th></tr> <tr> <td>普通タイプ</td><td>約 3 日</td></tr> <tr> <td>早強タイプ</td><td>約 1 日</td></tr> <tr> <td>超速硬タイプ</td><td>約 3 時間</td></tr> </table> <p>(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。</p> <p>試験 締固め度 標準仕様書22.4.2(b)による</p> <p>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22.4.2(a) による 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・</p>	区分	種類	厚さ(mm)	表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)	40	基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40	項目	性状	試験方法	フロー値（Pロート） 砂	10～14	舗装調査・試験法便覧（0041）	圧縮強度（7日養生） MPa	9.8～29.4	JIS R 5201	曲げ強度（7日養生） MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧（0042）	ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（％）	19mm	100	13.2mm	95～100	4.75mm	10～35	2.36mm	5～22	600μm	4～15	300μm	3～12	75μm	1～6	アスファルト量（％）	3.0～4.5	項目	基準値	密度（g/cm3）	1.90以上	安定度（kN）	2.94以上	フロー値（1/100cm）	20～40	空隙率（％）	20～28	突固め回数（回）	50	セメントミルクの種類	養生期間	普通タイプ	約 3 日	早強タイプ	約 1 日	超速硬タイプ	約 3 時間	9	ブロック舗装	・コンクリート平板舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ ※図示 (22.8.2、3) <table> <tr> <th>種 類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>※ 普通平板(N) ・ 透水平板(P)</td><td>※ 300角 ・</td><td>※ 60 ・</td><td>※ 砂 ・ モルタル</td><td>表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td></tr> <tr> <td>敷砂層</td><td>・ 砂 ・ 空練りモルタル</td><td>30</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>歩行者用通路に使用する普通平板は[図]（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は[図]（透水性コンクリート）とする。</p> <p>仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は 3mm 以内とする。 ・</p> <p>・インターロッキングブロック舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <table> <tr> <th>種 類</th><th>部位</th><th>厚さ(mm)</th><th>曲げ強度(N/mm²)</th><th>横断面勾配</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>・ 普通ブロック(N) ・ 透水性ブロック(P)</td><td>・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路</td><td>80 60</td><td>5.0以上 3.0以上</td><td>2% 1.5～2%</td><td>砂</td><td>色彩、表面加工標準品 ・</td></tr> </table> <table> <tr> <th>区 分</th><th>部位</th><th>厚さ(mm)</th><th>種 類</th></tr> <tr> <td rowspan="2">敷砂層</td><td>・ 車路、駐車場</td><td>20</td><td rowspan="2">砂</td></tr> <tr> <td>・ 歩行者用通路</td><td>30</td></tr> <tr> <td>フィルター層</td><td></td><td>100</td><td>川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)</td></tr> </table> <p>歩行者用通路に使用するブロックは[図]（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは[図]（透水性コンクリート）とする。</p> <p>・ 不織布（ジオテキスタイル）敷設位置 ※図示 ・ 敷砂層と路盤の間に敷設 ・ フィルター層と路床の間に敷設</p> <p>舗装の割付（車路、駐車場） ・ヘリンボンポンド（45°） ・ヘリンボンポンド（90°） 仕上り面の平たん性 ※ 走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は 3mm 以内とする。 ・</p> <p>・ 舗石（歩行者用通路）舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <table> <tr> <th>種 類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>※ 小舗石（花こう岩） ・</td><td>・</td><td>・</td><td>モルタル</td><td>・ うろこ張り ・</td></tr> </table> <table> <tr> <th>区 分</th><th>種 類</th><th>厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>敷砂層</td><td>※砂 ・ 空練りモルタル</td><td>30</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">基層</td><td>・ コンクリート版</td><td>70</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 再生粗粒度アスファルト混合物(20)</td><td>50</td><td></td></tr> </table> <p>コンクリート版は、コンクリート舗装による 加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による</p> <p>仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は 3mm 以内とする。 ・</p> <p>種別 ・ A種（施工範囲： ・ 図示 ・ 通路 ・ ） ・ B種（施工範囲： ・ 図示 ・ 建物周囲他 ・ ）</p> <p>JIS K 5665（路面標示用塗料）による</p> <table> <tr> <th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅(mm)</th><th>塗布厚さ(mm)</th></tr> <tr> <td>・ 1種 [図]</td><td>常温</td><td>液状</td><td>・ 白</td><td>・ 150</td><td>・ 1.0</td></tr> <tr> <td>・ 2種 [図]</td><td>加熱</td><td rowspan="2">粉体状</td><td rowspan="2">・</td><td rowspan="2">・ 100</td><td rowspan="2">・</td></tr> <tr> <td>※ 3種 1号</td><td>熔融</td></tr> </table> <p>[図] 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	※ 普通平板(N) ・ 透水平板(P)	※ 300角 ・	※ 60 ・	※ 砂 ・ モルタル	表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	敷砂層	・ 砂 ・ 空練りモルタル	30			種 類	部位	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考	・ 普通ブロック(N) ・ 透水性ブロック(P)	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	80 60	5.0以上 3.0以上	2% 1.5～2%	砂	色彩、表面加工標準品 ・	区 分	部位	厚さ(mm)	種 類	敷砂層	・ 車路、駐車場	20	砂	・ 歩行者用通路	30	フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	※ 小舗石（花こう岩） ・	・	・	モルタル	・ うろこ張り ・	区 分	種 類	厚さ(mm)	備考	敷砂層	※砂 ・ 空練りモルタル	30		基層	・ コンクリート版	70		・ 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	50		種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	・ 1種 [図]	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0	・ 2種 [図]	加熱	粉体状	・	・ 100	・	※ 3種 1号	熔融	10	砂利敷き	(22.9.2)
区分	種類	厚さ(mm)																																																																																																																																																									
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)	40																																																																																																																																																									
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40																																																																																																																																																									
項目	性状	試験方法																																																																																																																																																									
フロー値（Pロート） 砂	10～14	舗装調査・試験法便覧（0041）																																																																																																																																																									
圧縮強度（7日養生） MPa	9.8～29.4	JIS R 5201																																																																																																																																																									
曲げ強度（7日養生） MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧（0042）																																																																																																																																																									
ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（％）																																																																																																																																																										
19mm	100																																																																																																																																																										
13.2mm	95～100																																																																																																																																																										
4.75mm	10～35																																																																																																																																																										
2.36mm	5～22																																																																																																																																																										
600μm	4～15																																																																																																																																																										
300μm	3～12																																																																																																																																																										
75μm	1～6																																																																																																																																																										
アスファルト量（％）	3.0～4.5																																																																																																																																																										
項目	基準値																																																																																																																																																										
密度（g/cm3）	1.90以上																																																																																																																																																										
安定度（kN）	2.94以上																																																																																																																																																										
フロー値（1/100cm）	20～40																																																																																																																																																										
空隙率（％）	20～28																																																																																																																																																										
突固め回数（回）	50																																																																																																																																																										
セメントミルクの種類	養生期間																																																																																																																																																										
普通タイプ	約 3 日																																																																																																																																																										
早強タイプ	約 1 日																																																																																																																																																										
超速硬タイプ	約 3 時間																																																																																																																																																										
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																																																																																																																																							
※ 普通平板(N) ・ 透水平板(P)	※ 300角 ・	※ 60 ・	※ 砂 ・ モルタル	表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																																																																																																																																																							
敷砂層	・ 砂 ・ 空練りモルタル	30																																																																																																																																																									
種 類	部位	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	横断面勾配	目地材	備考																																																																																																																																																					
・ 普通ブロック(N) ・ 透水性ブロック(P)	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	80 60	5.0以上 3.0以上	2% 1.5～2%	砂	色彩、表面加工標準品 ・																																																																																																																																																					
区 分	部位	厚さ(mm)	種 類																																																																																																																																																								
敷砂層	・ 車路、駐車場	20	砂																																																																																																																																																								
	・ 歩行者用通路	30																																																																																																																																																									
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)																																																																																																																																																								
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																																																																																																																																							
※ 小舗石（花こう岩） ・	・	・	モルタル	・ うろこ張り ・																																																																																																																																																							
区 分	種 類	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																								
敷砂層	※砂 ・ 空練りモルタル	30																																																																																																																																																									
基層	・ コンクリート版	70																																																																																																																																																									
	・ 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	50																																																																																																																																																									
種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)																																																																																																																																																						
・ 1種 [図]	常温	液状	・ 白	・ 150	・ 1.0																																																																																																																																																						
・ 2種 [図]	加熱	粉体状	・	・ 100	・																																																																																																																																																						
※ 3種 1号	熔融																																																																																																																																																										
8	弾性舗装	弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ ※図示 (22.4.2～6) (表22.4.2～6) <table> <tr> <th>区分</th><th>種類</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr> <td>表層</td><td>弾性舗装材</td><td>15～20</td></tr> <tr> <td>基層</td><td>再生密粒度アスファルト混合物(13)</td><td>30</td></tr> </table> <p>加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による</p>	区分	種類	厚さ(mm)	表層	弾性舗装材	15～20	基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30	11	路面標示用塗料																																																																																																																																														
区分	種類	厚さ(mm)																																																																																																																																																									
表層	弾性舗装材	15～20																																																																																																																																																									
基層	再生密粒度アスファルト混合物(13)	30																																																																																																																																																									
23	植栽及び屋上緑化工事	① 植栽地の確認等 (23.1.3) <p>土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 ・行う ・行わない 電気伝導度（EC）の試験 ・行う ・行わない</p> (23.2.2、4) <table> <tr> <th>植栽</th><th>工法</th><th>有効土層の厚さ（cm）</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr> <tr> <td>・ 樹木</td><td>※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td><td>樹高12m以上（※100 ・ 120 ・ 150） 樹高7m以上～12m未満（※80 ・ 100） 樹高3m以上～7m未満（※60 ・ 80） 樹高3m未満（※50 ・ 60）</td><td>・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> <tr> <td>※芝、地被類</td><td>※B種 ・</td><td>※20 ・</td><td>・ 植栽部分 ・ 図示 ・</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr> </table> <p>植栽基盤の排水設備 ・ 設ける（※図示 ・ ） ○ 設けない</p> <p>○ 現場発生日土の良質土 ・ 客土 (23.2.3)</p> <p>・ パーク堆肥 [図] (23.2.3)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ 50L ・ ）</p> <p>・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）[図] 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ 10L ・ ）</p> <p>材料 「金風等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植替試験の調査の結果、害が認められないものとする</p> <p>樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・ (23.3.2)</p> <p>支柱 (23.3.2、3)</p> <p>支柱材 ※ 丸太（間伐材）[図] ・ 真竹 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・ 図示 ・</p> <p>材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2)</p> <p>芝 (23.4.2、3)</p> <p>種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ ・ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※べた張り</p> (23.4.2) <table> <tr> <th>種子の種類</th><th>発芽率</th><th>種子の量（g/㎡）</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>※洋芝類（採取後2年以内）</td><td>※発芽率80%以上</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> (23.4.2) <table> <tr> <th>樹種</th><th>コンテナ径</th><th>単位面積当たりのコンテナ数</th><th>芽立数</th></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> (23.3.4、6) (23.4.7) <p>新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 ・ 無し ・ 移植樹木の枯根処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・ 無し ・</p> (23.5.2、3) <p>植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 ・ 排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成型品 植込み用土 ※ 改良土 ・ 人工軽重土 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示 ・</p> <p>（品質・性能） 建築材料等品質性能表による （試験方法） 建築材料等品質性能表による</p> <p>・屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※ 図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示 ・</p> <p>（品質・性能） 建築材料等品質性能表による （試験方法） 建築材料等品質性能表による</p> (23.5.4) <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法</p> <p>支柱 ・ 設置する（形式 ・ 図示 ・ ） かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ）</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木	※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	樹高12m以上（※100 ・ 120 ・ 150） 樹高7m以上～12m未満（※80 ・ 100） 樹高3m以上～7m未満（※60 ・ 80） 樹高3m未満（※50 ・ 60）	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない	※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない	種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考	※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上			・				樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・				・																																																																																																																					
植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																							
・ 樹木	※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	樹高12m以上（※100 ・ 120 ・ 150） 樹高7m以上～12m未満（※80 ・ 100） 樹高3m以上～7m未満（※60 ・ 80） 樹高3m未満（※50 ・ 60）	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																							
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																							
種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考																																																																																																																																																								
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上																																																																																																																																																										
・																																																																																																																																																											
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																																																								
・																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																											

7

（一財）クリーンいわて事業団	
八幡平市平舘第2地割	A-07
令和2年度	—
公共関与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事	
特記仕様書（その7）	
縮 尺	—

7

溶接継手

使用箇所

・ 図示による()

・

H12建造第1463号に適合する性能

・ A級

鉄筋相互のあき

・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)

・

溶接継手の工法

・ 図示による()

・ 重ねアーク溶接

品質の確認方法

・ 図示による ()

・ 標準仕様書1.2.2(b) 施工計画書の品質計画による

不良となった継手の修正方法等

・ 図示による()

・ 標準仕様書1.2.2(b) 施工計画書の品質計画による

溶接技術者

・ 標準仕様書5.5.3(f)による

・ JIS Z 3882 (鉄筋の突合わせ溶接技術検定における試験方法及び判定基準) による技量を有する者

各部配筋

○図示による (構造関係共通図 (配筋標準図))

・

帯筋

組立の形の種別

○構造関係共通図 (配筋標準図) 6.2(b) (3) (形) による

・ 図示による ()

壁開口部の補強

一般壁

○構造関係共通図 (配筋標準図) 8.2(a) (1) (形) による

・ 図示による ()

耐力壁

○図示による (S-13, S-19, S22)

梁貫通孔の補強

補強形式

・ 構造関係共通図 (配筋標準図) 11.2 (形) による

・ 図示による ()

梁貫通孔径 (部材記号含む) 及び配筋種別リスト

・ 図示による ()

柱主筋の柱頭定着

○構造関係共通図 (配筋標準図) 6.1(a) (2)

・ 図示による (S-13, S-19, S-22)

外観試験

※行う (全数)

抜取試験

○超音波探傷試験

試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。

試験の箇所数： 1 ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。

・引張試験

試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。

試験の箇所数： 1 ロットに対して (※3本 ・ 5本) とする。

圧接完了後の試験

6

コンクリート工事

①

コンクリートの種類及び強度

普通コンクリート

(6.2.1~6.2.4)

設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積 質量 (t/m ³)	スランプ	適用箇所
・ 24	2.3程度	○15 ・ 18 ○18	基礎、基礎梁 上記以外
・		・	
・		・	
・		・	

類 別

※I 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)

・ II 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

②

コンクリートの類別

③

セメント

種 類

(6.3.1)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

使用部位 (※下記以外全て)

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする

・高炉セメントB種 **G**

使用部位 (・ 1FLより下部 (立上り部含む))

・フライアッシュセメントB種 **G**

使用部位 (・)

・

④

骨 材

アルカリシリカ反応性による区分

(6.3.1)

※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量 Rt = 3.0 kg/m³ 以下)

⑤

混和材料

○混和剤

混和剤の種類

※標準仕様書 6.3.1(d) (i) による ・

・混和材

混和材の種類

※標準仕様書 6.3.1(d) (ii) による ・

6

無筋コンクリート

設計基準強度

(6.2.1) (6.3.1) (6.14.1)

※18 (N/mm²) ・

スランプ

(6.14.1)

※15cm又は18cm ・

セメントの種類

(6.3.1)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

・高炉セメントB種 **G**

・フライアッシュセメントB種 **G**

適用箇所

(6.2.1) (6.14.1)

※標準仕様書 6.14.1(a) による箇所

・ 図示による ()

目地寸法

(6.6.3) (6.8.2) (9.7.3)

○標準仕様書 9.7.3による ・

※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する

(6.8.2)

間隔・位置・形状

・ 図示による()

⑦

ひび割れ誘発目地、打継目地

⑧

コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

(6.2.5) (6.8.3)

種 別	適用箇所
・ A種	※図示による ()
○ B種	※図示による ()
・ C種	※図示による ()

打増し厚さ

○打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)

(6.8.2)

・ 20mm ・

・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)

・ 10mm ・ 20mm ・

・外装タイル後張り面の打増し処理

・ 20mm ・

打増し範囲

・ 図示による() ・

⑨

打増し厚さ (打放し仕上げ部)

⑩

型枠

せき板の材料及び厚さ

(6.8.3)

コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議する。

○合板 (※12mm) **G**

・ 断熱材を兼用した型枠の使用

(6.8.3)

・ M C R 工法用シートの使用

(6.8.3)

打増し厚さ ・ 20mm

打増し範囲 ・ 図示による()

スリーブの材種・規格等

(6.8.3)

※図示による ()

存置期間及び取外し

(6.8.5)

※標準仕様書6.8.5による

標準仕様書 第6節 第7節による

標準仕様書6.5.5, 6.9.2, 6.9.3, 6.9.4による

(6.5.5) (6.9.2~6.9.4)

○ 行わない

・ 行う

実施要領

(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。

(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(2)による。

(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。

1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値 (以下、「設計値」という。) ±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。

2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。

3) 設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。

4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。

(4) 単位水量管理についての記録を書面 (計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。

(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法 (電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

⑪

コンクリートの養生方法

⑫

圧縮強度及び試験方法

⑬

コンクリートの単位水量測定

7

鉄骨工事

1

鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力

(7.1.1) (7.1.3)

建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場

評価の区分

※ () グレード

・ 指定しない

2

施工管理技術者

・適用する

(7.1.3) (7.1.4)

・適用しない

3

鋼 材

材質等

(7.2.1)

種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格
		・ JIS規格による
		・ JIS規格による
		・ JIS規格による
		・ JIS規格による
		・ JIS規格による

有効細長比 (圧縮材に限る)

・ 図示による()

4 高力ボルト

高力ボルトの区分

(7.2.2)

・トルシア形高力ボルト

セットの種類 ・ 2種 (S10T)

・ JIS形高力ボルト

セットの種類 ・ 2種 (F10T)

高力ボルトの径

(7.2.2)

・ 図示による()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

(7.3.2)

※図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)

・

すべり係数試験

(7.4.2)

※行わない

・ 行う

試験方法等 ・ 図示による()

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料

(7.2.3)

・ 標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品) による

・ 標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品) 又はJIS本体規格品 (ISO規格) による

(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする)

産金

(7.2.3)

・ 標準仕様書 7.2.3 (d) による

戻り止め

(7.5.2)

※二重ナット

ボルトの径

(7.2.3)

・ 図示による()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

(7.3.2)

※図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)

・

セットの種類

(7.2.2)

・ 1種 (F81相溶)

溶融亜鉛めっき高力ボルトの径

(7.2.2)

・ 図示による()

溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径

(7.3.8)

・ 大臣認定を受けた内容による

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

(7.3.2)

※図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)

摩擦面の処理

(7.12.4)

※ブラスト処理 (表面粗度50 μmR z 以上)

・ ブラスト処理以外の特別な処理方法

・ 図示による()

すべり耐力等の確認方法

※すべり係数試験

試験方法等 ・ 図示による()

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト

・構造用アンカーボルト

(7.2.4) (7.10.3)

・ 本体鉄骨

セットの種類 (JIS B 1220) ・ ABR400 ・ ABR490

形状、寸法 ・ 図示による()

・ その他の鉄骨

種類 ・ SS400

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

※標準仕様書 表7.2.3による

形状、寸法 ・ 図示による ()

・ 建方用アンカーボルト

種類 ・ SS400

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

※標準仕様書 表7.2.3による

形状、寸法 ・ 図示による()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

(7.3.2)

※図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)

7

アンカーボルト

（一財）クリーンいわて事業団

八幡平市平館第2地割

令和2年度

公共関与型産業廃棄物最終処分場土木施設建設工事

特記仕様書（その9）

縮 尺

—

A-09

—

[illegible]

11
タイル工事

セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

（既製調合モルタル）
（品質・性能）

項目	品質・性能
保水率	70.0%以上
単位容積質量	1.8kg/L以上
接着強さ	標準時 0.6N/mm以上 湿冷繰返し後 0.4N/mm以上
長さ変化率	0.2%以下
曲げ強さ	4.0N/mm以上

（試験方法）
（1）試料の調整 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるのに要する材料を練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10. 2に規定する練り混ぜ機を使用し、繰りばちらに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料とする。
（2）保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P 3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、（1）で調整した試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをもノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率＝50／平均値×100 （注） 50：リング型わくの径 mm
（3）単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。
（4）接着強さ（標準時）の試験方法
イ）適用タイルが「モザイクタイル」の場合
（試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）のうち推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに（1）で調整した試料を厚さ5mmになるように塗付け。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施地の「50角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7. 9接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び 抜き取る。（全てが 0.6 N/mm²以上を確保していること。）
ロ）適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合
（試験体の作製）JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに（1）で調整した試料を厚さ7mmになるよう 塗付け。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装壁タイルで 乾式成形による施地の「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験 体とする。
（試験方法）「モザイクタイル」の場合と同様とする。

15
左官工事

モルタル塗り

（防水剤）
（品質・性能）

項目	品質・性能
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	（凝結）JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の8の規定によって行う。 凝結時間 始発：1時間以上 終結：10時間以内 （安定性）JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の9の規定によって行い、収縮性、膨張性のひび割れ及びそりについて確認する。
曲げ及び圧縮強度比	JIS A 1404に規定する。JIS R 5201の 10. の規定によって行う。 曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上
吸水比	JIS A 1404の規定によって行う。吸水比 95%以下
透水比	JIS A 1404の規定によって行う。透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ⁵ Paとし1時間行う。

（錠前類）【シリンド箱錠及びシリンド本締まり錠】
（品質）
デッドボルトの寸出方は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。
（性能）
使用頻度による 性能
1）（シリンド箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。
2）キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。（シリンド本締まり錠のみ）シリンド単体の施錠解錠繰り返しの評価は、シリンド だけの回転トルクが10N・cm以下とする。
3）キーによる施錠機構の解錠解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。
4）キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10 N以下である。また、未使用の合鍵でシリンドが回 転でき、かつ、1箇所1段差深い刻みをもつ異なるキーでは、シリンドが 回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）
外力に 対する 性能
1）デッドボルトの押込み強度試験（10 KN）を行なった後、荷重を除いた ときのデッドボルトの寸出方は8 mm 以上 で あること。
2）デッドボルトの側圧強度試験（10 KN）を行なった後、加圧板がデッドボルトを通過しない。
3）デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験（58.8 J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が9 mm未満）にならないこと。
4）デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58.8 J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。
5）（シリンド本締まり錠はグレード3以上の影込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5 mm 以上のステンレス鋼製とし、トロロキは厚さ1.6 mm 以上の鋼製の一体枚りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。
使用頻の質量に対する性能（シリンド箱錠のみ）
1）ラッチボルトの側圧強度試験（4 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。
2）レバーハンドルのねじり強度試験（3.5 KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。
3）握り玉のねじり強度試験（3 KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。
4）ハンドルの引張強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。
5）ハンドルの垂直荷重強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

16
建具工事

建具用金物

（錠前類）【シリンド箱錠及びシリンド本締まり錠】
（品質）
デッドボルトの寸出方は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。
（性能）
使用頻度による 性能
1）（シリンド箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。
2）キーによるデッドボルトの施錠解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。（シリンド本締まり錠のみ）シリンド単体の施錠解錠繰り返しの評価は、シリンド だけの回転トルクが10N・cm以下とする。
3）キーによる施錠機構の解錠解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解錠操作に支障がない。
4）キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10 N以下である。また、未使用の合鍵でシリンドが回 転でき、かつ、1箇所1段差深い刻みをもつ異なるキーでは、シリンドが 回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）
外力に 対する 性能
1）デッドボルトの押込み強度試験（10 KN）を行なった後、荷重を除いた ときのデッドボルトの寸出方は8 mm 以上 で あること。
2）デッドボルトの側圧強度試験（10 KN）を行なった後、加圧板がデッドボルトを通過しない。
3）デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験（58.8 J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が9 mm未満）にならないこと。
4）デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58.8 J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。
5）（シリンド本締まり錠はグレード3以上の影込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5 mm 以上のステンレス鋼製とし、トロロキは厚さ1.6 mm 以上の鋼製の一体枚りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。
使用頻の質量に対する性能（シリンド箱錠のみ）
1）ラッチボルトの側圧強度試験（4 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。
2）レバーハンドルのねじり強度試験（3.5 KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。
3）握り玉のねじり強度試験（3 KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。
4）ハンドルの引張強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。
5）ハンドルの垂直荷重強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。

19
内装工事

断熱材

（現場発泡断熱材）
（品質・性能）

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること （1）JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 （2）法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリ試験）に適合していること。 （1）総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 （2）防火上有害な表面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 （3）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。

（試験方法）
（1）原液試験（原液粘度試験）
JIS K 7117-1「フ ャクサー液状、乳濁状又は分散状の樹脂ーP ltykwit」形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。
（2）発泡品試験
1）試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6. 2. 1による。
2）試料の状態調節は、JIS A 9526の6. 2. 2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6. 2. 3による。
3）試験片の状態調節及び試験場所は、 JIS A 9526の6. 2. 4による。
（3）圧縮強さ試験 JIS A 9526の6. 2. 5により、測定はJIS K 7220「硬質発泡プ ャクサー圧縮特性の求め方」による。
（4）熱伝導率試験
JIS A 9526の6. 2. 6により、JIS A 1412-1「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 第一部：保護熱板法（GHP法）」又はJIS A 1412-2「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 第二部：熱流計法（HFW法）」によって、平均温度（23±2）℃、高温板と低温板の温度差（25±5）℃で熱伝導率を測定する。
（5）接着強さ試験
JIS A 9526の6. 2. 7による。
（6）透湿率試験
JIS A 9526の6. 2. 8により、測定はJIS A 1324「建築材料の透湿性測定方法」又はJIS K 7225「硬質発泡プ ャクサー水蒸気透過性の求め方」による。
（7）難燃性の表面加熱試験
JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
（8）発熱性試験
建築基準法に基づき指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

（自動ドア開閉装置）
（品質・性能）
駆動装置・制御装置

項目	品質・性能
動作電圧	定格電圧に対し90%～110%の電圧で動作に異常がない
適用使用周囲温度(℃)	-10℃～+40℃
電動機の焼損防止措置	電動機にサーマルプロテクターを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置（本体センサー、補助センサー）

項目	品質・性能
作動電圧範囲	定格電圧90 %～110 %で作動させた時に異常がないこと
出力接点容量	有接点 無接点
	AC 100V 0.3A以上（抵抗負荷） DC 50V 0.1A以上（抵抗負荷）
	DC 30V 0.3A以上（抵抗負荷） - -
	DC 50V 0.1A以上（抵抗負荷） - -

応答時間(秒)
適用使用周囲温度 (℃)

0.3以下 -10℃～+40℃

（錠前類）【レバーハンドル】
（性能）
ねじり 強度
レバーハンドルのねじり強度試験（3.5 KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。
引張り 強度
ハンドルの引張強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル が正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、 施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。
垂直荷重強度
ハンドルの垂直荷重強度試験（2 KN）を行い、荷重を除いたとき、ハ ンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠 は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。
試験方法は、JIS A 1541-1（建築金物―錠―第1部：試験方法）による。
（クロウザ類）
（品質・性能）

性能試験項目	区分	① ドアクローザ	② ヒンジクローザ	③ フロアヒンジ
初 期 値	Grade2	番手 閉じモーメント(N・m) 効率 (%)	閉じモーメント(N・m) 効率 (%)	閉じモーメント(N・m) 効率 (%)
	1	5以上 30以上	5以上 30以上	5以上 30以上
	2	10以上 30以上	10以上 30以上	10以上 30以上
	3	15以上 35以上	15以上 35以上	15以上 35以上
	4	25以上 40以上	25以上 40以上	25以上 40以上
	5	35以上 45以上	35以上 45以上	35以上 45以上
6	45以上 45以上	45以上 45以上	45以上 45以上	
閉じ速度(秒)		常温(5～35℃) 無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を6～8秒に調整できること。		
温度依存性(℃)		緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品)の流動点並びに石油製品引点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。		
ストップ入力		60 N・m以下 但し、コジゲル型は200 N・m以下	100 N・m以下	100 N・m以下
	ストップ解除力	8 N・m以上	3 N・m以上	10 N・m以上
バックチェック性能(秒)		ドア開扉方向に荷重60 N/m ² を 開扉50° から負荷する。バックチェッ 開始角度(70°～85°)から更に 有する機構のみ適用) 20° まで開閉の時間は0.8秒以上と していること。	-	-
	ディレードアクション性能(秒)	開扉90° の位置からディレードアク ション解除角度までの時間が10 秒 以上確保でき、また、その時間の 調整が可能であること。	-	-
ディレードアクション解除角度(60°～75°)				
ディレードアクション 機能を有する機構のみ適用)				
戸の開閉位置 (中心吊り込み両自由 両面に適用)		-	-	-
耐 性	繰返し開閉後の閉じ後の閉じモーメント(N・m)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し開閉後の繰返し開閉後の効率は	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		
繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	
繰返し開閉後のディレードアクション性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	
繰返し開閉後の戸開閉位置(mm)	-	-	耐久試験後 ±6mm以内	
耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)	Grade2 20万回	10万回	30万回	

注1)パナール取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。
注2)コジゲル型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。
Grade1を選択する場合は、図示による。
（試験方法）
1）性能試験は、JIS A 1510-3（建築用ドア金物の試験方法―第3部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ）に規定する試験方法による。
2）試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

（試験方法）
（1）応答時間 0.3m/secの早さで移動している標準被試験体が検出範囲に入ってから、0N信号を出力するまでの時間を測定する。
（2）検出範囲
a. ゴムマットスイッチは、直径100mmの鋼製円柱（質量10kg）を不感部を除く全面に静かに置いたとき、確実に作動すること。
b. 上部取り付け形の動体検出形は、0.15m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき確実に作動すること。
c. 上部取り付け形の静止体検出形は、0.05m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき、確実に作動すること。
注）取り付け位置などにより、上記によりがたい場合は、当該センサーに適した 方法の試験を行い確実に作動することを確認する。
＜試験条件＞
（1）無目付センサー又は天井付センサーの検出体及び検出範囲試験は、JIS A 1551の7. 6による。
（2）熱線スイッチ……被検出体表面温度、33±2℃とし、周辺温度は、被検出体 表面温度より5℃±2℃低い値とする。
（3）超音波スイッチ……温度-10℃、湿度75%、風速10m/secとする。
（4）試験室の状態は、JIS Z 8703「試験場所の標準状態」の常温、常湿による。
（3）耐放射ノイズ
放射線周波数電磁界イミュニティ試験とする。（ただし、電界強度は一定とする。）

（自閉式上りり引装置）
（試験方法）
（1）耐久性（開閉繰り返し）試験
閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの作動を確認できる試験を行う。
同試験に用いる試験体は片引とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。
適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認すること、試験に代えることができるものとする。
（2）耐衝撃試験
落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。
耐衝撃試験に用いる試験体は片引引、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。
適用戸総質量の区分毎に試験を行う。
（3）気密性能試験
JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

（現場発泡断熱材）
（品質・性能）
項目 品質・性能
難燃性 下記のいずれかによっていること
（1）JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
（2）法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリ試験）に適合していること。
（1）総発熱量が8MJ/m²以下であること。
（2）防火上有害な表面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
（3）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。

（試験方法）
（1）原液試験（原液粘度試験）
JIS K 7117-1「フ ャクサー液状、乳濁状又は分散状の樹脂ーP ltykwit」形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。
（2）発泡品試験
1）試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6. 2. 1による。
2）試料の状態調節は、JIS A 9526の6. 2. 2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6. 2. 3による。
3）試験片の状態調節及び試験場所は、 JIS A 9526の6. 2. 4による。
（3）圧縮強さ試験 JIS A 9526の6. 2. 5により、測定はJIS K 7220「硬質発泡プ ャクサー圧縮特性の求め方」による。
（4）熱伝導率試験
JIS A 9526の6. 2. 6により、JIS A 1412-1「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 第一部：保護熱板法（GHP法）」又はJIS A 1412-2「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 第二部：熱流計法（HFW法）」によって、平均温度（23±2）℃、高温板と低温板の温度差（25±5）℃で熱伝導率を測定する。
（5）接着強さ試験
JIS A 9526の6. 2. 7による。
（6）透湿率試験
JIS A 9526の6. 2. 8により、測定はJIS A 1324「建築材料の透湿性測定方法」又はJIS K 7225「硬質発泡プ ャクサー水蒸気透過性の求め方」による。
（7）難燃性の表面加熱試験
JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
（8）発熱性試験
建築基準法に基づき指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

（一財）クリーンいわて事業団

八幡平市平館第2地割

A-11

令和2年度

公共関与型産業廃棄物最終処分場
土木施設建設工事

建築材料等品質性能表（その1）

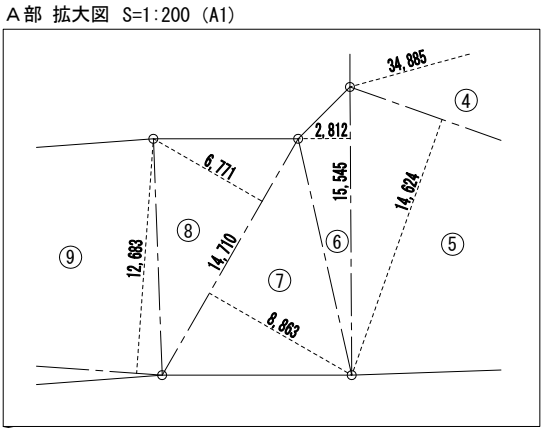
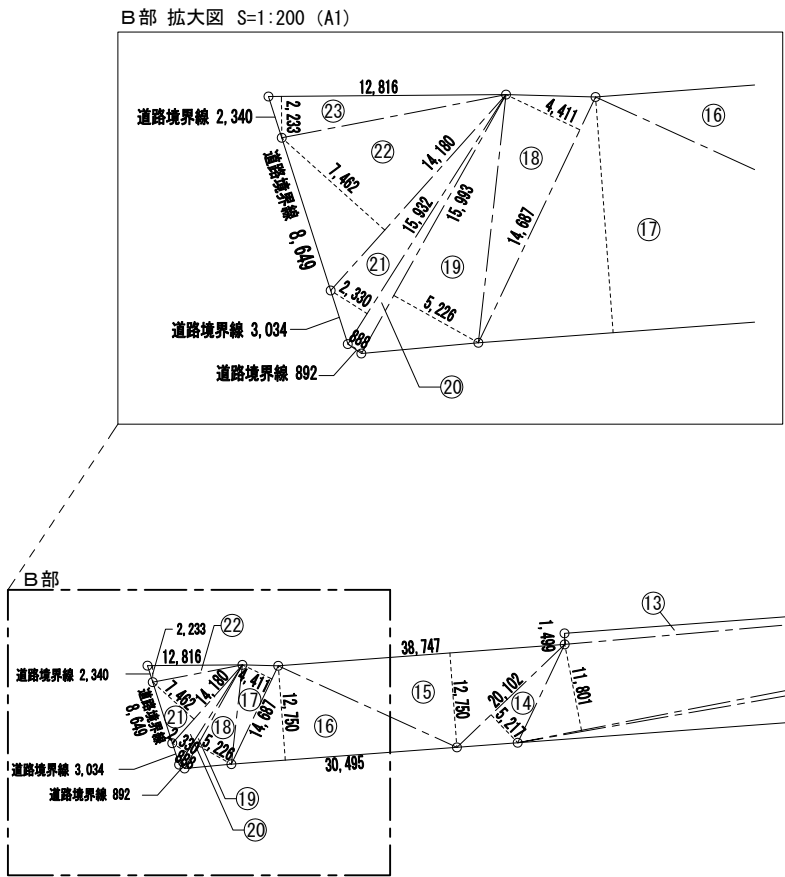
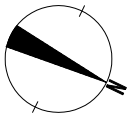
縮 尺

-

11

20 ユニット及びその他工事	フリーアクセスフロア	<p>〈フリーアクセスフロア〉 (性能)</p> <p>(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下</p> <p>(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと</p> <p>(3) ローリングロード性能 (3,000Nの場合の試験の適用は任意)</p> <p>所定荷重1,000Nによる繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下</p> <p>(4) 耐震性能</p> <p>イ) 固定台試験による耐震性能</p> <table><tr><th>項目</th><th>性能</th></tr><tr><td>① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td><td>水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>② 上記①以外の部分が耐力に達したとき</td><td>水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td><td>設計床高さ ≦250mm 設計床高さ ＞250mm</td><td>5mm以下かつ、適用地震時水平力を除荷した状態での変位がほぼ弾性範囲内 構造床面からの高さの1/50以下</td></tr></table> <p>＜適用地震時水平力＞</p> <p>3,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数] × 0.6</p> <p>3,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数] × 1.0</p> <p>5,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数] × 0.6</p> <p>5,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数] × 1.0</p> <p>ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≦300mmの場合のみ)</p> <p>振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。</p> <p>(5) 耐燃焼性能</p> <p>建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒</p> <p>(6) 帯電防止性能評価値 (U)</p> <p>0.6以上</p> <p>(7) 感電防止性能</p> <p>漏えい抵抗 (R) ≧1×10⁶ Ω</p> <p>(8) 歩行感</p> <p>通常の歩行において空音やがたつきがなく、歩行感到違和感がない</p> <p>(9) メンテナンス性</p> <p>交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。</p> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 耐震性能</p> <p>1) 設計床高さ≦300mmの場合</p> <p>試験体ユニット1000mm×2500mm程度</p> <p>所定の重りの質量 3000N：200kg 5000N：350kg</p> <p>加振 0.6G；所定加速度600cm／S² 1.0G：所定加速度1000cm／S²</p> <p>2) 300mm＜設計床高さ≦600mmの場合</p> <p>① 固定台による耐震性能試験</p> <p>イ、支柱調整式－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法－1又は、試験方法－2による。</p> <p>ロ、原則として、試験方法－1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法－2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。</p> <p>②試験方法－1</p> <p>イ、試験は、コクリト (JIS A 5371F) 4t×4t無筋コクリト製品 種類：N300) に着した支柱の頂部に對し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。</p> <p>ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。</p> <p>③試験方法－2</p> <p>イ、試験は、コクリト (JIS A 5371F) 4t×4t無筋コクリト製品 種類：N300) に着した数ユニットの支柱の頂部に對し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時 水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量 を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。</p> <p>ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。また、800mm×800mmに荷重板3,200 N (5,000 N／1㎡ 相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。</p> <p>④零点補正及び測定記録</p> <p>試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1／2程度の 水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。</p> <p>3) 共通事項</p> <p>試験に使用する表面仕上材</p> <p>種類：タイルカーペット</p> <p>繊維素材：ナイロン100 %</p> <p>バイル携帯：ルーババイル</p> <p>バイル長：3.0mm～4.0mm</p> <p>バックینگ素材：塩化ビニル樹脂</p> <p>全厚：6.0mm～7.0mm</p> <p>単位質量：4.0kg/㎡～64.0kg/㎡</p> <p>人体耐電圧：2KV以下</p>	項目	性能	① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上	② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上	③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	設計床高さ ≦250mm 設計床高さ ＞250mm	5mm以下かつ、適用地震時水平力を除荷した状態での変位がほぼ弾性範囲内 構造床面からの高さの1/50以下	トイ レフ ース	<p>(12) 化学物質を放散する資材 (ホルムアルデヒド等)</p> <p>JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。</p> <p>(トイレブース) (品質・性能)</p> <p>(1) パネル</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>表面材</td><td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td></tr><tr><td>裏打材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>心材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td></tr><tr><td>枠材</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。</td></tr><tr><td>エッジ材</td><td></td></tr><tr><td>小口</td><td>防水処理を施す。</td></tr></table> <p>(2) 構造金物</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>笠木</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐蝕性のあるものとする。</td></tr><tr><td>脚部 (脚具、幅木)</td><td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td></tr><tr><td>壁見切り金物</td><td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐蝕性のあるものとする。</td></tr><tr><td>頭つなぎ等</td><td>頭つなぎ等で使用するビス類の材質はステンレス製とする。</td></tr></table> <p>(3) 付属金物</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>ヒンジ</td><td>耐食性のあるものとする。</td></tr><tr><td>ラッチセット</td><td></td></tr><tr><td>戸当り</td><td>腐食の恐れのある材料には防錆処理を施したあるものとする。</td></tr><tr><td>戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td><td></td></tr></table> <p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b) による。</p> <p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th><th>開閉耐久性</th></tr><tr><td>耐薬品性及び耐汚染性</td><td>耐ひっかき性</td><td>開閉耐久性</td></tr><tr><td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td><td>JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8 品質 による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。</td><td>JIS A 4702「ドアセット」J44開閉繰り返し試験によるスイングドア (開閉回数10万回) を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に錆みのないこと。</td></tr><tr><td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td><td>JAS「合板の日本農林規格」第9条 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面引きつきの平均値が10μm以内であること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧MDF</td><td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td><td></td></tr><tr><td>ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード</td><td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td><td></td></tr></table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法－第2部：ドア用金物」に規定する試験による。</p> <p>(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。</p>	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。	エッジ材		小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	笠木	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐蝕性のあるものとする。	脚部 (脚具、幅木)	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	壁見切り金物	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐蝕性のあるものとする。	頭つなぎ等	頭つなぎ等で使用するビス類の材質はステンレス製とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐食性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐食の恐れのある材料には防錆処理を施したあるものとする。	戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。		項目	品質・性能	開閉耐久性	耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性	開閉耐久性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8 品質 による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。	JIS A 4702「ドアセット」J44開閉繰り返し試験によるスイングドア (開閉回数10万回) を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に錆みのないこと。	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面引きつきの平均値が10μm以内であること。		ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。		天 井 点 検 口	<p>(天井点検口) (品質・性能)</p> <p>内外枠の材質 アルミニウム製</p> <p>JIS H 4100 A6063S又は同等の性能を有するもの</p> <p>表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの</p> <p>(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)</p> <p>内枠及び外枠のコーナークビス</p> <p>鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>外枠の取付け金物</p> <p>鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの</p> <p>内枠の仕上り材留付金物</p> <p>アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの</p> <p>枠の寸法許容差 ±0.5mm</p> <p>外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内</p> <p>耐久性性能 (繰り返し開閉試験)</p> <p>(1) 50回、100回及び300回の内蓋の垂れ下がりが0.5mm以内</p> <p>(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。</p> <p>(試験方法)</p> <p>内蓋 (内枠) の繰り返し40mm程度のものとする。</p> <p>吊り金物は、外枠を天井下地取付け用チャンネルに直接留付け方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。</p> <p>(2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。</p> <p>(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。</p>	床 点 検 口	<p>(床点検口) (品質・性能)</p> <p>以下のもの又は同等のものとする</p> <table><tr><th>部材名</th><th>材質</th><th>屋内外用</th><th>屋内用</th></tr><tr><td>受枠材 蓋枠材</td><td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス製</td><td>IS H 4100 の A6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602 の B種 又は JIS H 8601 の AA15</td><td>JIS G 4305 の SUS430、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL 又は2B仕上げ程度</td></tr><tr><td></td><td>鋼製</td><td>—</td><td>公共建築工事標準仕様書 表18.3.1 及び 表18.3.2 のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td></tr><tr><td>二重蓋の中蓋</td><td>(上記のほか) 鋳鉄 その他</td><td>JIS G 5501 の FC150、FC200</td><td>塩化ビニル樹脂製等</td></tr><tr><td>目地材</td><td>黄銅</td><td>JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ステンレス</td><td>JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304</td><td></td></tr><tr><td>底板材 コーナークビス 底板補強材</td><td>ステンレス鋼板</td><td>JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304</td><td>JIS G 4305 の SUS430</td></tr><tr><td></td><td>アルミニウム板</td><td>JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td>鋼材</td><td>—</td><td>公共建築工事標準仕様書 表18.3.1 及び 表18.3.2 のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td></tr><tr><td>パッキン材</td><td></td><td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの</td><td></td></tr><tr><td>アンカー材 取手</td><td></td><td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋳鉄製、ステンレス鋼鋳製品、ステンレス製等。 ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td><td></td></tr><tr><td>鍵</td><td></td><td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td><td></td></tr><tr><td>蓋の耐荷重性能</td><td></td><td>蓋中央部が荷重値 P=1,000N において残留たわみが点検口の有孔径の 0.08% 以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること</td><td></td></tr></table> <p>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm</p> <p>蓋付寸法の許容差 ±0.5mm</p> <p>受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内</p> <p>(試験方法)</p> <p>耐荷重試験</p> <p>試験体は、強物用とし、600mm 角程度、枠見込みは、40mm 以下とする。</p> <p>試験は、蓋枠の四隅を支持させ、蓋の中央部にφ50mm の加圧板を設置し、加圧する。</p> <p>本試験前：200Nを加圧した後、本試験を行う。</p> <p>本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する (終局荷重) まで加圧する。</p> <p>測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</p>	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス製	IS H 4100 の A6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602 の B種 又は JIS H 8601 の AA15	JIS G 4305 の SUS430、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL 又は2B仕上げ程度		鋼製	—	公共建築工事標準仕様書 表18.3.1 及び 表18.3.2 のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	(上記のほか) 鋳鉄 その他	JIS G 5501 の FC150、FC200	塩化ビニル樹脂製等	目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604			ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304		底板材 コーナークビス 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304	JIS G 4305 の SUS430		アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—		鋼材	—	公共建築工事標準仕様書 表18.3.1 及び 表18.3.2 のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの		アンカー材 取手		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋳鉄製、ステンレス鋼鋳製品、ステンレス製等。 ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする		鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする		蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 P=1,000N において残留たわみが点検口の有孔径の 0.08% 以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること		21 排水 工事	<p>(グレーチング) (品質・性能等)</p> <p><鋼製グレーチング>以下のもの又は同等のものとする</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>メインバー、サイドバー及びエンドプレート</td><td>IS G 3101 SS400 メインバーピッチ 普通目：30mm～35.3mm程度 細目：12.5mm～15mm程度</td></tr><tr><td>クロスバー</td><td>JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」SWRM</td></tr><tr><td>受け枠用アングル材</td><td>JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」SPHT</td></tr><tr><td>溶融亜鉛めっきの付着量</td><td>IS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上</td></tr><tr><td>受け枠用アングル材</td><td>塗装仕上げた場合は、樹脂系塗料</td></tr><tr><td>アンカー</td><td>間隔 側溝の場合500mm内外</td></tr><tr><td>ふた</td><td>幅及び長さの許容差 ±3.0mm</td></tr><tr><td>荷重性能</td><td>設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする</td></tr></table>	項目	品質・性能	メインバー、サイドバー及びエンドプレート	IS G 3101 SS400 メインバーピッチ 普通目：30mm～35.3mm程度 細目：12.5mm～15mm程度	クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」SWRM	受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」SPHT	溶融亜鉛めっきの付着量	IS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上	受け枠用アングル材	塗装仕上げた場合は、樹脂系塗料	アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外	ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm	荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする	22 植栽及び屋上緑化工事	<p><ステンレス製グレーチング></p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>メインバー、クロスバー</td><td>JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L</td></tr><tr><td>エンドバー、サイドバー</td><td>JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4318、JIS G 4320 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L</td></tr><tr><td>受け枠用アングル材</td><td>JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L</td></tr><tr><td>アンカー</td><td>JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う</td></tr><tr><td>間隔</td><td>側溝の場合500mm内外</td></tr><tr><td>表面仕上げ</td><td>2B程度</td></tr><tr><td>ふた</td><td>幅及び長さの許容差 ±3.0mm</td></tr><tr><td>荷重性能</td><td>設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする</td></tr></table> <p>(荷重試験方法)</p> <p>設計荷重は以下の通りとする</p> <table><tr><th>歩車道区分</th><th>荷重種別</th><th>側溝用 (KN)</th><th>横断溝用 (KN)</th><th>加圧面積 (cm)</th></tr><tr><td rowspan="3">車道</td><td>T-20</td><td>78.5</td><td>109.8</td><td>20×50</td></tr><tr><td>T-14</td><td>54.9</td><td>76.9</td><td>20×50</td></tr><tr><td>T-6</td><td>23.5</td><td>33.0</td><td>20×24</td></tr><tr><td rowspan="2">歩道</td><td>T-2</td><td>7.8</td><td>11.0</td><td>20×16</td></tr><tr><td colspan="4">4,903N/㎡の等分布荷重</td></tr></table> <p>試験体は、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。</p> <p>イ) 溝ふた 横断用 T-20～T-2のうち1体 歩道用 のうち1体</p> <p>側溝用 T-20～T-2のうち1体</p> <p>ロ) U字溝用 側溝用 T-14～T-2のうち1体 歩道用 のうち1体</p> <p>設計荷重を基準として一方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4,903N/sとする。繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。</p>	項目	品質・性能	メインバー、クロスバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L	エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4318、JIS G 4320 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L	受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L	アンカー	JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う	間隔	側溝の場合500mm内外	表面仕上げ	2B程度	ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm	荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする	歩車道区分	荷重種別	側溝用 (KN)	横断溝用 (KN)	加圧面積 (cm)	車道	T-20	78.5	109.8	20×50	T-14	54.9	76.9	20×50	T-6	23.5	33.0	20×24	歩道	T-2	7.8	11.0	20×16	4,903N/㎡の等分布荷重				屋上緑化	<p><屋上緑化システム> (品質・性能)</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水フィルター</td><td>材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものとする。透水性能は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。</td></tr><tr><td>透水、排水層等構成材の主要材質</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td></tr><tr><td>排水層</td><td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び涵込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td></tr><tr><td>排水層の鉛直方向の排水性能</td><td>240L/㎡・h以上</td></tr><tr><td>耐荷重性能</td><td>最大有効土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。3×104N/㎡の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)</td></tr><tr><td>耐根層</td><td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td></tr><tr><td>耐根層保護層</td><td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td></tr></table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 透水フィルタの透水性能</p> <p>(イ) JIS A 1218「土の透水試験方法」の定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性能試験装置の下部に試験体 (透水フィルタ) をセットし、その上に砂 (JIS A5308「レディミクストコンクリート」付属書Aに規定する砂) 及びシルト #250を容積比2：1の割合で混合し、高さ80mmの試験容器に加圧せずに均一に充填する。(試験体1体)</p> <p>(ロ) 常温で1日置いた後、上部より給水する。給水5日間連続後取り出して自然水切り2日とし給水サイクルを繰り返す。週2回を下回らない測定回数で圧力差の水頭差110mmを保持したまま、1分間の透水量を計量し、透水係数を算出する。なお、乾燥工程の試験室は室温20±3℃ 湿度60±5%とする。</p> <p>(ハ) 水切り工程は、試験体の入った試験装置を取り出し、試験室内に水が切れる状態で保管する。</p> <p>(ニ) 各サイクルごとの透水係数の推移をグラフ化し、6週間を過ぎるまでにその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できれば目詰まりが解消方向にあると判断し、合格とする。</p> <p>(ホ) 試験開始後6週間、流水時間合計が30日を超えた時点で透水係数がまだ上昇に転じない場合は、その後も透水量が増加する方向へ向かうまで流水時間を延長して確認することも可とする。</p> <p>(2) 排水層の耐荷重性能</p> <p>(イ) 最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍かつ3×104 N /㎡の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み (%) を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。)</p> <p>(ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm /min以下とする。</p>	項目	品質・性能	透水フィルター	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものとする。透水性能は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び涵込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上	耐荷重性能	最大有効土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。3×104N/㎡の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。	屋上緑化	<p><屋上緑化軽量システム> (品質・性能)</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>透水、排水層等構成材の主要材質</td><td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものとする。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td></tr><tr><td>透水層</td><td>目詰まりより植物の生育に支障を生じることがなく、涵込み用土を流出させない構造であること。</td></tr></table>	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものとする。 (保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりより植物の生育に支障を生じることがなく、涵込み用土を流出させない構造であること。
	項目	性能																																																																																																																																																																																																																							
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上																																																																																																																																																																																																																								
② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上																																																																																																																																																																																																																								
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	設計床高さ ≦250mm 設計床高さ ＞250mm	5mm以下かつ、適用地震時水平力を除荷した状態での変位がほぼ弾性範囲内 構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																																																																																							
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																																																																																																																																																																																								
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																								
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																								
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき処理を施した材料とする。																																																																																																																																																																																																																								
エッジ材																																																																																																																																																																																																																									
小口	防水処理を施す。																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
笠木	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐蝕性のあるものとする。																																																																																																																																																																																																																								
脚部 (脚具、幅木)	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																																																																																																																																																																																								
壁見切り金物	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐蝕性のあるものとする。																																																																																																																																																																																																																								
頭つなぎ等	頭つなぎ等で使用するビス類の材質はステンレス製とする。																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
ヒンジ	耐食性のあるものとする。																																																																																																																																																																																																																								
ラッチセット																																																																																																																																																																																																																									
戸当り	腐食の恐れのある材料には防錆処理を施したあるものとする。																																																																																																																																																																																																																								
戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																																																																																																																																																																																									
項目	品質・性能	開閉耐久性																																																																																																																																																																																																																							
耐薬品性及び耐汚染性	耐ひっかき性	開閉耐久性																																																																																																																																																																																																																							
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8 品質 による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。	JIS A 4702「ドアセット」J44開閉繰り返し試験によるスイングドア (開閉回数10万回) を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に錆みのないこと。																																																																																																																																																																																																																							
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。																																																																																																																																																																																																																								
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面引きつきの平均値が10μm以内であること。																																																																																																																																																																																																																								
ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																								
ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																								
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																																																						
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材 ステンレス製	IS H 4100 の A6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602 の B種 又は JIS H 8601 の AA15	JIS G 4305 の SUS430、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL 又は2B仕上げ程度																																																																																																																																																																																																																						
	鋼製	—	公共建築工事標準仕様書 表18.3.1 及び 表18.3.2 のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																						
二重蓋の中蓋	(上記のほか) 鋳鉄 その他	JIS G 5501 の FC150、FC200	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																																																																						
目地材	黄銅	JIS H 3100 の C2600、C2720、C2801 JIS H 3250 の C3602、C3604																																																																																																																																																																																																																							
	ステンレス	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304																																																																																																																																																																																																																							
底板材 コーナークビス 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305 の SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304	JIS G 4305 の SUS430																																																																																																																																																																																																																						
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—																																																																																																																																																																																																																						
	鋼材	—	公共建築工事標準仕様書 表18.3.1 及び 表18.3.2 のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																						
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの																																																																																																																																																																																																																							
アンカー材 取手		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋳鉄製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金鋳鉄製、ステンレス鋼鋳製品、ステンレス製等。 ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																																																																																																																																							
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																																																																							
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 P=1,000N において残留たわみが点検口の有孔径の 0.08% 以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること																																																																																																																																																																																																																							
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	IS G 3101 SS400 メインバーピッチ 普通目：30mm～35.3mm程度 細目：12.5mm～15mm程度																																																																																																																																																																																																																								
クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」SWRM																																																																																																																																																																																																																								
受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」SPHT																																																																																																																																																																																																																								
溶融亜鉛めっきの付着量	IS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上																																																																																																																																																																																																																								
受け枠用アングル材	塗装仕上げた場合は、樹脂系塗料																																																																																																																																																																																																																								
アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外																																																																																																																																																																																																																								
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm																																																																																																																																																																																																																								
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
メインバー、クロスバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L																																																																																																																																																																																																																								
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4318、JIS G 4320 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L																																																																																																																																																																																																																								
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320 の SUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305 の SUS430J1L																																																																																																																																																																																																																								
アンカー	JIS G 3101 SS400、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う																																																																																																																																																																																																																								
間隔	側溝の場合500mm内外																																																																																																																																																																																																																								
表面仕上げ	2B程度																																																																																																																																																																																																																								
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm																																																																																																																																																																																																																								
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする																																																																																																																																																																																																																								
歩車道区分	荷重種別	側溝用 (KN)	横断溝用 (KN)	加圧面積 (cm)																																																																																																																																																																																																																					
車道	T-20	78.5	109.8	20×50																																																																																																																																																																																																																					
	T-14	54.9	76.9	20×50																																																																																																																																																																																																																					
	T-6	23.5	33.0	20×24																																																																																																																																																																																																																					
歩道	T-2	7.8	11.0	20×16																																																																																																																																																																																																																					
	4,903N/㎡の等分布荷重																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
透水フィルター	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものとする。透水性能は、その週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。																																																																																																																																																																																																																								
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																																																								
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び涵込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																																																																																								
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/㎡・h以上																																																																																																																																																																																																																								
耐荷重性能	最大有効土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。3×104N/㎡の載荷重で破壊・有害なひずみなど異常のないこと。 (保水層を有する場合は保水層共)																																																																																																																																																																																																																								
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																																																																																								
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート (絶縁シートも含む) の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものとする。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																																																																																								
透水層	目詰まりより植物の生育に支障を生じることがなく、涵込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																																																																																								

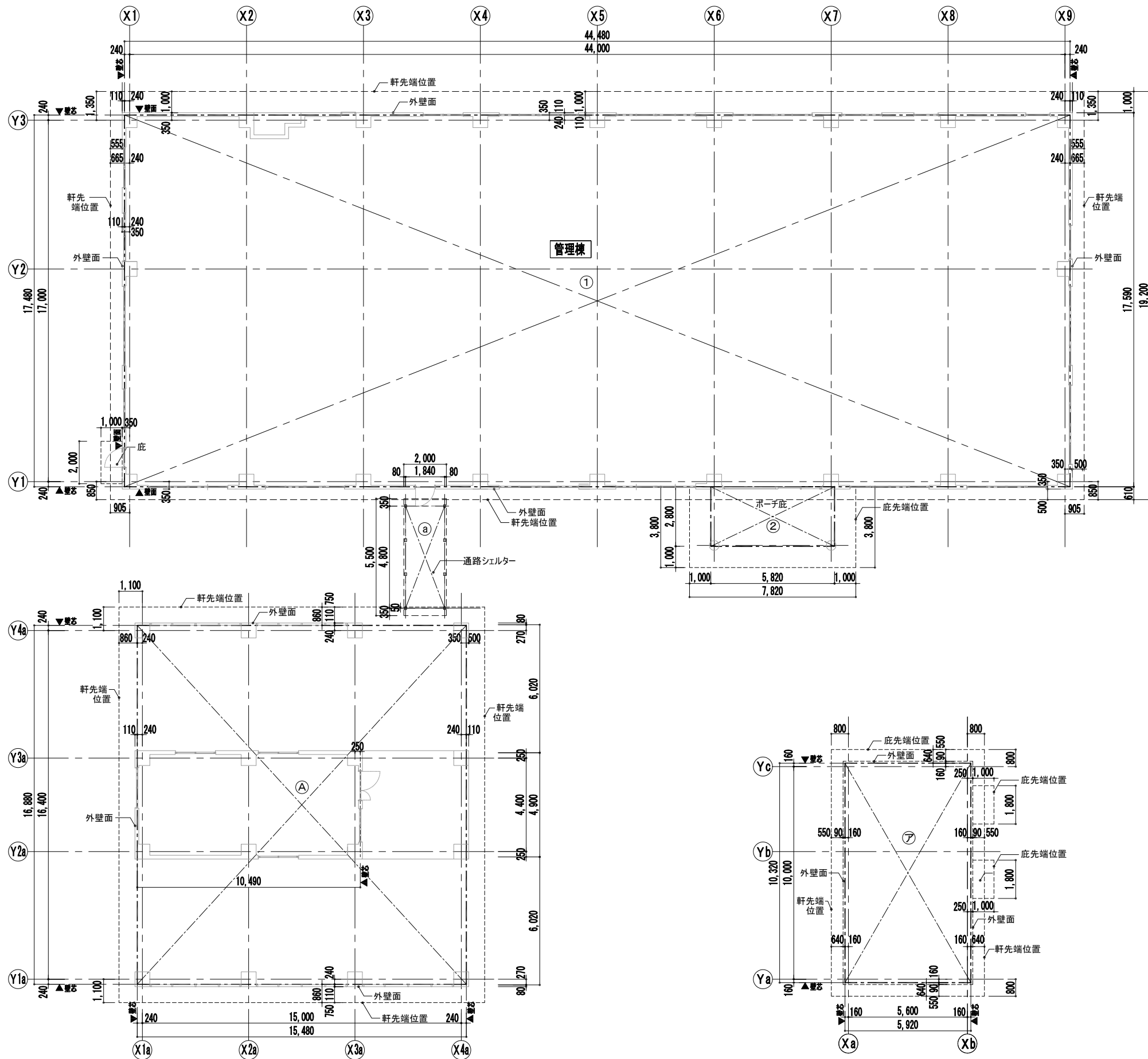
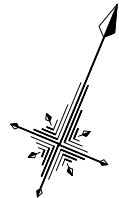
工事区分表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
項 目						A	E	M	E	V	備 考					項 目						A	E	M	E	V	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
躯体関係													仕上げ関係													11. その他													電気配線配管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
1. R C造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け					○	○	○	○							1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強					○										機器搬入用フック ビーム	○								E V用フック含む																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	補強を要する型枠材及び取付け					○											補強を要しないボードの切り込み						○	○									チェーンブロック						○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	補強を要しない型枠材及び取付け					○	○	○	○								開口部の墨出し						○	○									点検口（天井・床下）					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	貫通孔・開口部の墨出し					○	○	○	○																								排煙口等の天井仕上材					○						排煙口はM																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	貫通孔・開口部の補強					○											2. 可動間仕切り	切り込み及び補強					○											消火器B O X設置工事					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	スリーブ・型枠の穴埋め					○	○	○	○		防火区画、防煙区画							位置ボックス					○											煙突底部排水目皿・排水管					○						くつふきマット・玄関マット・自動扉マット部床排水金物（目皿共）・排水管					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
2. S、S R C造のはり貫通孔	S・S R C造貫通鋼管スリーブ・補強					○										3. つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用						○	○									くつ洗い流し部排水金物・排水管							○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	使用されたスリーブの穴埋め					○	○	○	○		防火区画、防煙区画																						ルーフトレン					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	予備スリーブの穴埋め					○	○	○	○		防火区画、防煙区画																						雨水配管					○								ポンプアップ管はM																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3. 設備機器の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入あるもの）					○										4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ					○											雨水利用設備集水管					○								電動遮断弁以降はM																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）						○	○									ウエザーカバー、ベンドキャップ								○								屋上緑化					○								屋上緑化用給水管はM																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	屋外・屋上の基礎					○											換気扇（取付枠共）								○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの						○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機器取付け用アンカー・架台							○	○								5. 台所・湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	屋内受水タンク用の基礎					○												フード（建築工事標準詳細図のもの）					○						その他はM																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4. 昇降機関連	昇降路の躯体					○										6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット								○								屋外排水設備・構内配電線路・構内通信線路・外構					1. 雨水					屋外雨水排水設備					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	機械室の躯体					○											既製浴槽（ふたを含む）									○																	樹及び樹ふた					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	機械室の床開口					○											浴室及び便所の床排水金物									○																	マンホールの化粧上ふたの表面仕上げ					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	機械室の床配管ビット・蓋					○																																					雨水公設柵					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上					○										7. 便所まわり	洗面カウンター					○						洗面器はM					2. 雑排水・汚水・電力・通信					屋外雑排水及び屋外汚水排水設備								○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	機械室・昇降路内換気設備								○								洗面化粧台									○												樹及び樹ふた					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	巻上機周囲のチェッカープレート敷									○							鏡					○																マンホール、ハンドホールの化粧上ふたの表面仕上げ					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	昇降路内ビット防水・集水柵					○											衛生器具ユニット、トイレバック									○												排水公設柵					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	点検用タラップ									○							8. 事務室まわり	身障用手すり、背もたれ					○						衛生器具ユニット及びトイレバックの場合はM					3. 植栽					植栽及び客土					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	各階出入口穴あけ・同補強					○										ファンコイルカバー					○											上記以外のユニット型浄化槽本体・配管及び据付等										○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修									○								家具組み込みの洗面器									○		切り込みはA															マンホール、ハンドホールの化粧上ふたの表面仕上げ					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	出入口扉、三方枠及び幕板									○																													排水公設柵								○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材					○										9. フリーアクセスフロア	コンセント								○								4. ユニット型浄化槽					ビット形の躯体及び砂充てん					○								浄化槽本体はM																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱他昇降路内の鋼製部材一式									○							床パネルの切り込み加工					○																上記以外のユニット型浄化槽本体・配管及び据付等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケット受けピース					○																																配管トレンチ及びふた					○								トレンチ内架台等はE又はM																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	機械室内大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										



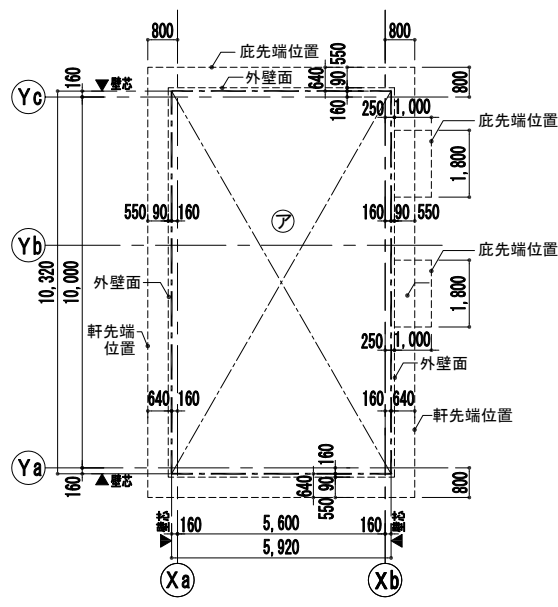
敷地求積図 S=1:500 (A1)

【面積表】					
No.	計算式	面積 (㎡)	No.	計算式	面積 (㎡)
①	$166.335 \times 46.675 \times 1/2$	3,881.843063	⑫	$121.203 \times 11.801 \times 1/2$	715.1583015
②	$166.335 \times 41.150 \times 1/2$	3,422.342625	⑬	$113.055 \times 1.499 \times 1/2$	84.7347225
③	$159.505 \times 35.784 \times 1/2$	2,853.863460	⑭	$20.102 \times 5.217 \times 1/2$	52.436067
④	$158.067 \times 35.170 \times 1/2$	2,779.608195	⑮	$38.747 \times 12.750 \times 1/2$	247.012125
⑤	$42.502 \times 14.624 \times 1/2$	310.774624	⑯	$30.495 \times 12.750 \times 1/2$	194.405625
⑥	$15.545 \times 2.812 \times 1/2$	21.856270	⑰	$14.687 \times 4.411 \times 1/2$	32.3921785
⑦	$14.710 \times 8.863 \times 1/2$	65.187365	⑱	$15.993 \times 5.226 \times 1/2$	41.789709
⑧	$14.710 \times 6.771 \times 1/2$	49.800705	⑲	$15.993 \times 0.888 \times 1/2$	7.100892
⑨	$87.558 \times 12.683 \times 1/2$	555.249057	⑳	$15.932 \times 2.330 \times 1/2$	18.560780
⑩	$215.730 \times 12.750 \times 1/2$	1,375.278750	㉑	$14.180 \times 7.462 \times 1/2$	52.905580
⑪	$129.733 \times 2.352 \times 1/2$	152.566008	㉒	$12.816 \times 2.233 \times 1/2$	14.309064
合計		16,929.175170			
		申請敷地面積	16,929.17 ㎡		

(一財) クリーンいわて事業団	
八幡平市平館第2地割	A-14
令和2年度	—
公共間与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事	
敷地求積図・面積表	
縮 尺	1:200, 1:500 (A1) 1:400, 1:1000 (A3)



受入計量設備棟



コア・資材倉庫

■ 建築面積

区分	符号	W × L (m)	建築面積 (㎡)	小計 (㎡)	合計 (㎡)
管理棟	①	44.48 × 17.59	782.4032	798.6992 798.69 ㎡	1,129.91 ㎡
	②	5.82 × 2.80	16.2960		
設備 受入計量	③	15.48 × 16.88	261.3024	261.3024	
				261.30 ㎡	
コア倉庫 資材	④	5.92 × 10.32	61.0944	61.0944	
				61.09 ㎡	
通路 シエルター	⑤	1.84 × 4.80	8.832	8.832	
				8.83 ㎡	

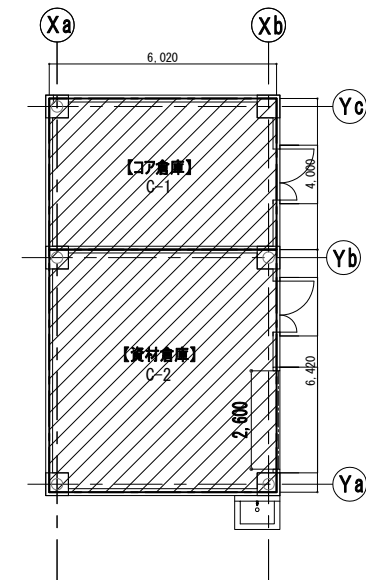
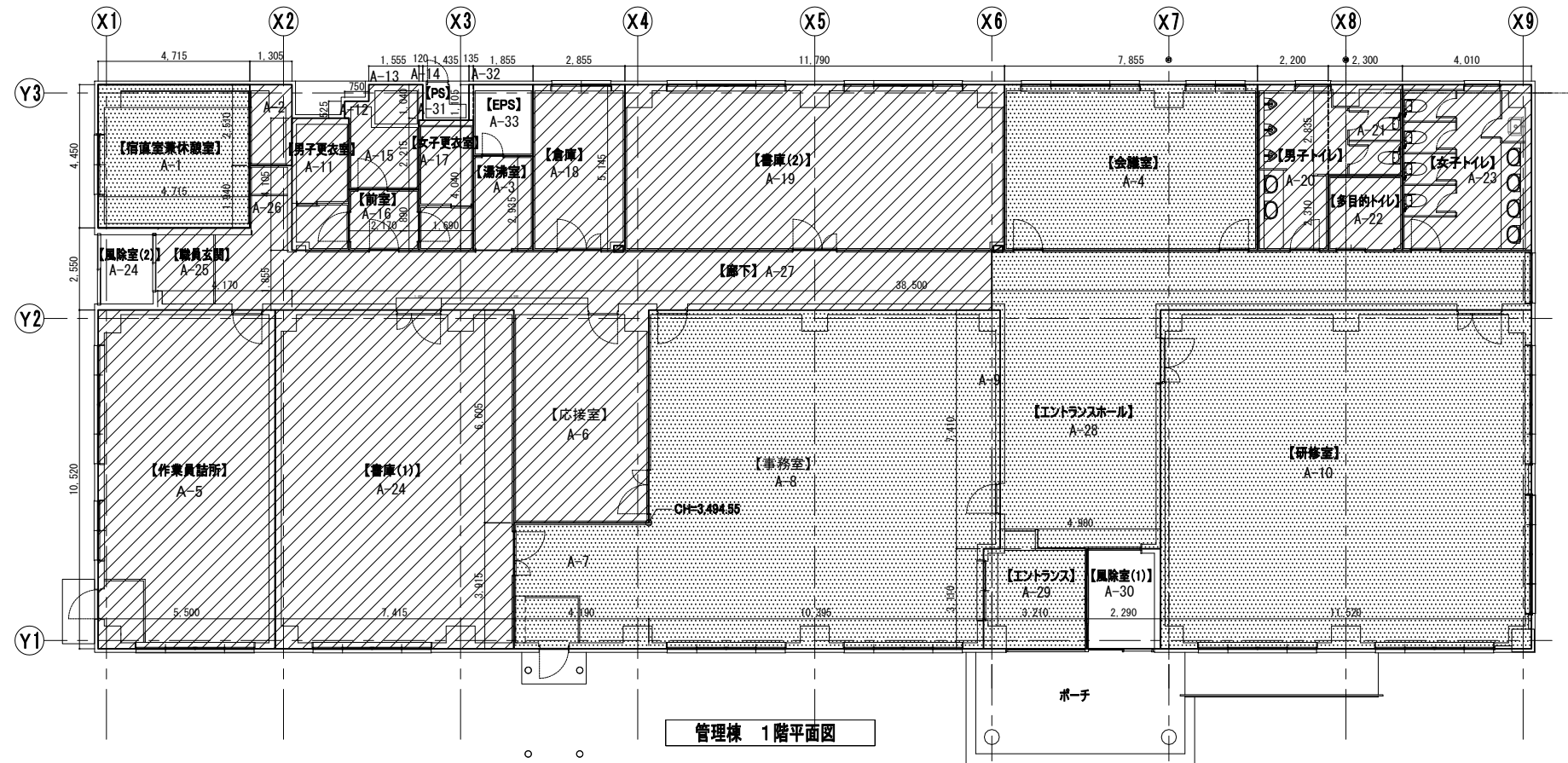
■ 延べ床面積

区分	符号	W × L (m)	床面積 (㎡)	小計 (㎡)	合計 (㎡)
管理棟	①	44.48 × 17.48	777.5104	777.5104	1,108.73 ㎡
				777.51 ㎡	
設備 受入計量	②	15.48 × 16.88	261.3024	261.3024	
				261.30 ㎡	
倉庫 コア資材	③	5.92 × 10.32	61.0944	61.0944	
				61.09 ㎡	
シ ェ ル タ ー 通 路	④	1.84 × 4.80	8.832	8.832	
				8.83 ㎡	

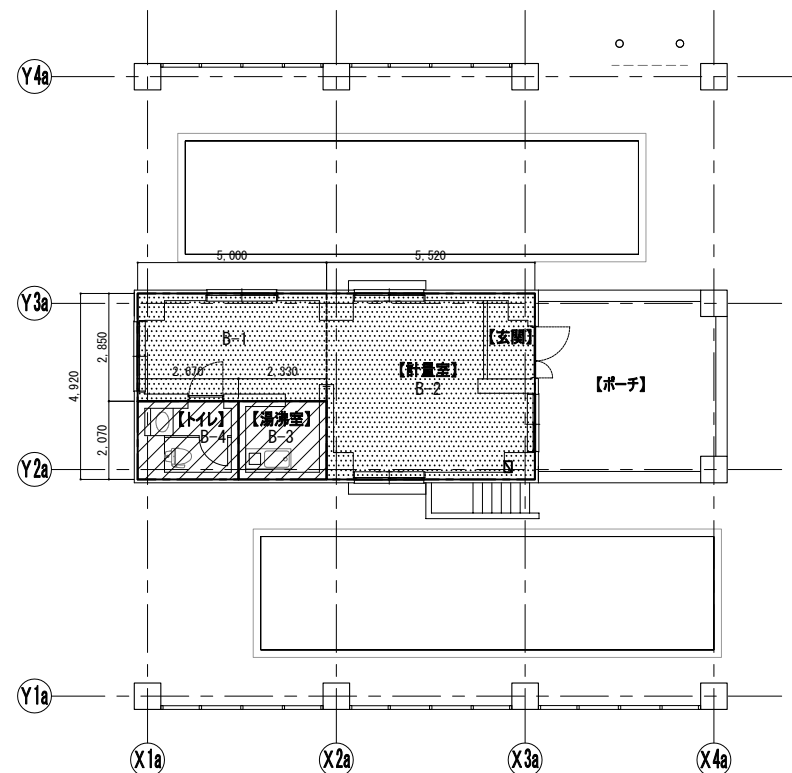
■ 面積表

	建築面積 (㎡)	床面積 (㎡)
管理棟	798.69 ㎡	777.51 ㎡
受入計量設備	261.30 ㎡	261.30 ㎡
コア・資材倉庫	61.09 ㎡	61.09 ㎡
通路シエルター	8.83 ㎡	8.83 ㎡
合 計	1,129.91 ㎡	1,108.73 ㎡

(一財) クリーンいわて事業団	
八幡平市平館第2地割	A-15
令和2年度	—
公共関与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事	
建築面積算定図・床面積算定図	
縮 尺	—



コア・資材倉庫 1階平面図



受入計量設備 1階平面図

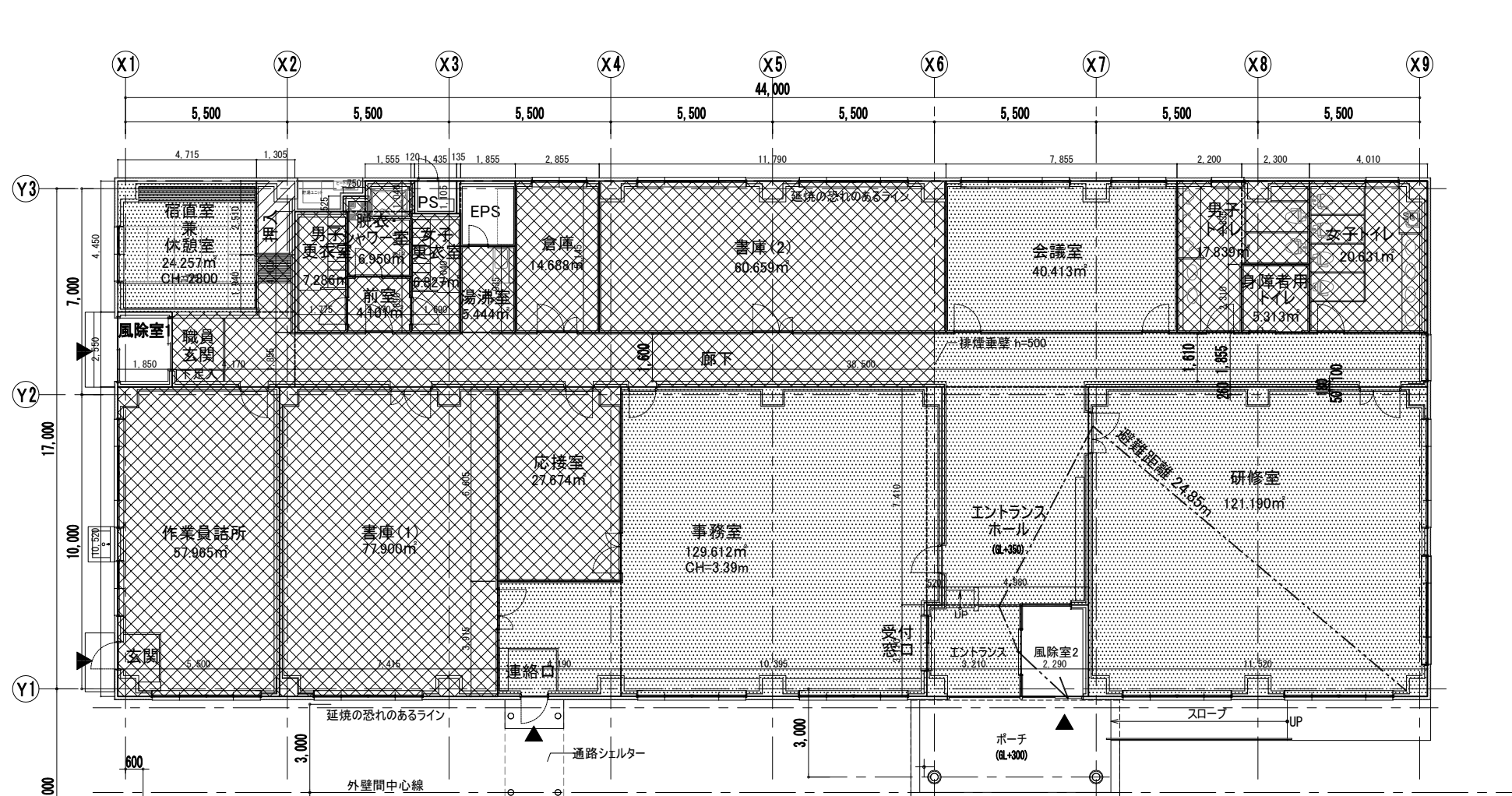
面積表				
棟	部屋番号	室名	計算式	面積
管理棟	A-1	宿直室兼休憩室	4.715 * 4.450 =	20.982
	A-2		1.305 * 2.510 =	3.276
	A-3	湯沸室	1.855 * 2.935 =	5.444
	A-4	会議室	7.855 * 5.145 =	40.414
	A-5	作業員詰所	5.510 * 10.520 =	57.965
	A-6	応接室	4.190 * 6.605 =	27.675
	A-7		4.190 * 3.915 =	16.404
	A-8	事務室	10.395 * 10.520 =	109.355
	A-9		0.520 * 7.410 =	3.853
	A-10	研修室	11.520 * 10.520 =	121.190
	A-11	男子更衣室	1.775 * 4.105 =	7.286
	A-12		0.750 * 0.525 =	0.394
	A-13		1.555 * 1.040 =	1.617
	A-14	脱衣・シャワー室	0.120 * 1.105 =	0.133
	A-15		2.170 * 2.215 =	4.807
	A-16	前室	2.170 * 1.850 =	4.101
	A-17	女子更衣室	1.690 * 4.040 =	6.828
	A-18	倉庫	2.855 * 5.145 =	14.689
	A-19	書庫(2)	11.790 * 5.145 =	60.660
	A-20	男子トイレ	2.200 * 5.145 =	11.319
	A-21		2.300 * 2.835 =	6.521
	A-22	障害者用トイレ	2.300 * 2.310 =	5.313
	A-23	女子トイレ	4.010 * 5.145 =	20.631
	A-24	書庫(1)	7.415 * 10.520 =	78.006
	A-25	風除室(1)	1.850 * 2.550 =	4.718
	A-26		4.170 * 2.550 =	10.634
	A-27		1.305 * 1.940 =	2.532
	A-28	廊下	38.500 * 1.855 =	71.418
	A-29		4.980 * 7.410 =	36.902
	A-30		3.210 * 3.110 =	9.983
	A-31	風除室(2)	2.290 * 3.110 =	7.122
	A-32	PS	1.435 * 1.105 =	1.586
	A-33	EPS	0.135 * 1.105 =	0.149
	A-34		1.855 * 2.210 =	4.100
受入計量設備	B-1	計量室	5.000 * 2.850 =	14.250
	B-2		5.520 * 4.920 =	27.158
	B-3	湯沸室	2.300 * 2.070 =	4.761
	B-4	トイレ	2.670 * 2.070 =	5.527
コア・資材倉庫	C-1	コア倉庫	6.020 * 4.000 =	24.080
	C-2	資材倉庫	6.020 * 6.420 =	38.848
合計床面積				916.508 m ²

事務室 平均天井高さ
A-7 3.9*16.40-((3.9-3.45)*3.92*4.19/2)=60.26㎡
A-8 3.9*109.36-((3.9-2.8)*10.52*10.40/2)=366.33㎡
A-9 3.58*3.85-((3.58-2.8)*0.52*7.41/2)=12.28㎡
CH=(60.26+366.33+12.28)/129.612=3.39m

研修室 平均天井高さ
A-10 3.90*121.19-((3.9-2.8)*10.52*11.52/2)=405.99㎡
CH=405.99/121.190=3.35m

- 凡例
- : 排煙 自然排煙
 - : 排煙 告示1436号四号二
 - : 排煙 令126条の2-1-四

(一財)クリーンいわて事業団	
八幡平市平館第2地割	A-16
令和2年度	—
公共関与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事	
法規制チェック図(1)	
縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)



宿室兼休憩室	会議室	作業員詰所
必要排煙面積	必要排煙面積	必要排煙面積
24.257/50=0.485㎡	40.413/50=0.808㎡	57.965/50=1.159㎡
有効排煙面積	有効排煙面積	有効排煙面積
0.85*0.36*2=0.61㎡ OK	0.9*0.385*3=1.04㎡ OK	0.9*0.385*3=1.04㎡ NG
-	-	告示1436号四号二(4)
必要採光面積	必要採光面積	必要採光面積
24.257/20=1.21㎡	40.413/20=2.02㎡	57.965/20=2.89㎡
有効採光面積	有効採光面積	有効採光面積
0.78*1.07*2=1.67㎡ OK	0.85*1.05*6=5.36㎡ OK	0.85*1.05*6=5.36㎡ OK
必要換気面積	必要換気面積	必要換気面積
24.257/20=1.21㎡	40.413/20=2.02㎡	57.965/20=2.89㎡
有効換気面積	有効換気面積	有効換気面積
0.85*1.16*2=1.97㎡ OK	0.9*1.185*3=3.20㎡ OK	0.9*1.185*3=3.20㎡ OK
2 AW _{4,2}	1 AW _{4,3}	1 AW _{4,3}
▽IRL	▽IRL	▽IRL

事務室	研修室	廊下	計量室
必要排煙面積	必要排煙面積	必要排煙面積	必要排煙面積
129.612/50=2.592㎡	121.190/50=2.423㎡	77.986/50=1.560㎡	41.40/50=0.828㎡
有効排煙面積	有効排煙面積	有効排煙面積	有効排煙面積
0.85*0.46*8=3.128㎡ OK	0.85*0.26*16=3.54㎡ OK	2.4*0.35+1.52*0.5=1.60㎡ OK	0.9*0.385*5=1.733㎡OK
-	-	-	-
必要採光面積	必要採光面積		必要採光面積
129.612/20=6.480㎡	121.190/20=6.06㎡		41.40/20=2.07㎡
有効採光面積	有効採光面積		有効採光面積
0.78*1.07*8=6.688㎡ OK	0.78*1.07*16=13.35㎡ OK		0.85*2*1.05*5=8.93OK
必要換気面積	必要換気面積		必要換気面積
129.612/20=6.480㎡	121.190/20=6.06㎡		41.40/20=2.07㎡
有効換気面積	有効換気面積		有効換気面積
0.85*1.16*8=7.89㎡ OK	0.85*1.16*16=15.78㎡ OK		0.9*1.18*5=5.31㎡OK
2 AW _{4,8}	2 AW _{4,16}	1 SSD 3 AW	1 AW _{4,5}
▽IRL	▽IRL	▽IRL	▽IRL

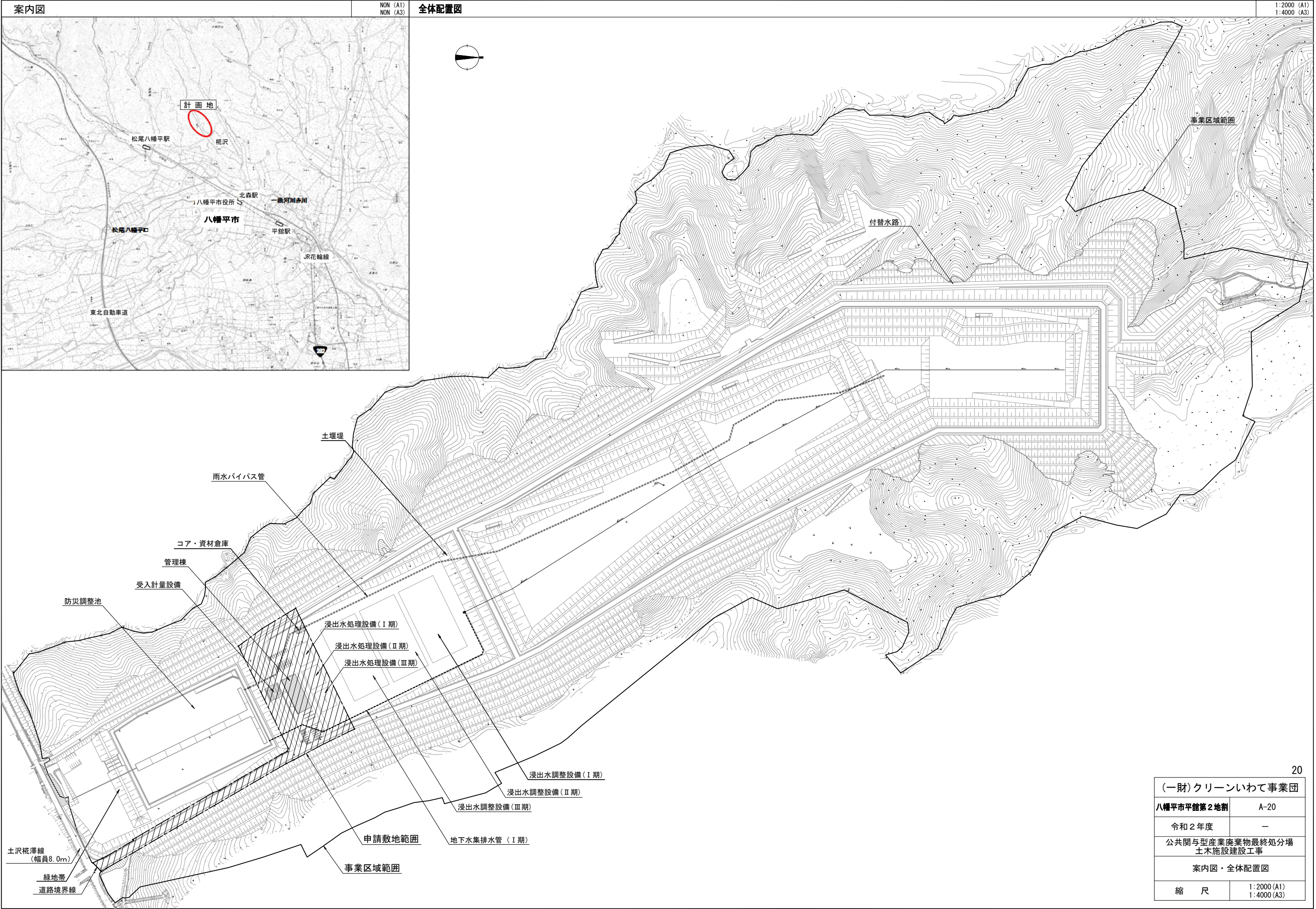
事務室 平均天井高さ
 $A-7 \ 3.9 \times 16.40 - ((3.9 - 3.45) \times 3.92 \times 4.19 / 2) = 60.26 \text{ m}^2$
 $A-8 \ 3.9 \times 109.36 - ((3.9 - 2.8) \times 1.052 \times 10.40 / 2) = 366.33 \text{ m}^2$
 $A-9 \ 3.58 \times 3.85 - ((3.58 - 2.8) \times 0.52 \times 7.41 / 2) = 12.28 \text{ m}^2$
 $CH = (60.26 + 366.33 + 12.28) / 129.612 = 3.39 \text{ m}$

(一財) クリーンいわて事業団	
八幡平市平館第2地割	A-17
令和2年度	—
公共関与型産業廃棄物最終処分場 土施設建設工事	
法規制チェック図(2)	
縮 尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)

共通事項			幅 木		(1) 特記以外の下地及び詳細番号は下表による。	外 部 仕 上 装																																																																																			
1 各項目の※及び・の適用は特記仕様書と同じとする。 2 (○ー○○ー○)内の数字は建築工事標準詳細図(平成 28 年版)の詳細番号を示す。 3 特記以外の建物内部の床部は、E P-G (水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 4 特記以外の鉄面、垂れめっき面は、S O P (F☆☆☆☆)とする。 5 備考欄の「測定対象室()」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、()内数値は測定箇所数を示す。 6 略号は下表による。〔 〕は J I S 旧略号及び名称を示す					<table><tr><th colspan="2">仕上げ種別</th><th>高さ(mm)</th><th colspan="2">詳細番号</th></tr><tr><td>VB</td><td>(樹種 ※杉・)</td><td>※60・75</td><td>(2-11-1)</td><td>(2-11-9)</td></tr><tr><td>WB</td><td>(ビニール床シート巻上げ)</td><td>・60・</td><td>(2-11-4：CL仕上げ)</td><td></td></tr><tr><td>NC</td><td>(SUS)</td><td>○60</td><td>(2-11-2：アルミ製ジョイナー)</td><td></td></tr></table>	仕上げ種別		高さ(mm)	詳細番号		VB	(樹種 ※杉・)	※60・75	(2-11-1)	(2-11-9)	WB	(ビニール床シート巻上げ)	・60・	(2-11-4：CL仕上げ)		NC	(SUS)	○60	(2-11-2：アルミ製ジョイナー)		<table><tr><th>施設名称</th><th>施工箇所</th><th>床</th><th>壁</th><th>屋 根</th><th>軒 天</th><th>建 具</th><th>附属物</th></tr><tr><td>管理棟</td><td>管理棟</td><td>スラブ下：断熱材敷</td><td>防水形複層塗材E 外壁内側：断熱材打込み</td><td>カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30 屋根スラブ下、断熱材打込み</td><td>防水形複層塗材E</td><td>アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0) スチールフラッシュドア SOP</td><td>くつふきマット 地流し 壁どい 落雪防止金物(屋根取付) アルミ庇(既製品) 通路シェルター(アルミ既製品)</td></tr><tr><td></td><td>玄関ポーチ</td><td>大判磁器質タイル 300x300(防滑仕様)</td><td>防水形複層塗材E</td><td>アスファルト防水 押えコンクリートt=80、溶接金網φ6.0×100×100 伸縮目地 20×80 既製品φ3000 此幕板：アルミパネル面加工 t=2.0 フッ素樹脂塗装</td><td>アルミスバンドレル t=1.0</td><td>アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0) スチールフラッシュドア SOP</td><td>点字ブロック：磁器質 t=12 300×300</td></tr><tr><td></td><td>スロープ</td><td>磁器質タイル 100×100(防滑仕様)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>手摺：ステンレス HL 42.7φ 2段 点字ブロック：磁器質 t=12 300×300</td></tr><tr><td colspan="2">受入計量・設備棟</td><td>—</td><td>防水形複層塗材E 外壁内側：断熱材打込み</td><td>カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30 屋根スラブ下、断熱材打込み</td><td>防水形複層塗材E</td><td>アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0)</td><td>落雪防止金物(屋根部取付)</td></tr><tr><td></td><td>計量機上部庇・ポーチ</td><td>コンクリート直均し アスファルト舗装</td><td>—</td><td>カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30</td><td>アルミスバンドレル t=1.0</td><td>スチールフラッシュドア SOP</td><td>車両積載台確認用架台 落雪防止金物(屋根部取付) アルミ防風スクリーン(18ガラス入り) 視認用鏡：天井付SUS製既製品1000角</td></tr><tr><td>コア・資材倉庫</td><td>コア・資材庫</td><td>—</td><td>—</td><td>カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30</td><td>—</td><td>スチールフラッシュドア SOP スチール電動シャッター SOP</td><td>落雪防止金物(屋根部取付)</td></tr></table>								施設名称	施工箇所	床	壁	屋 根	軒 天	建 具	附属物	管理棟	管理棟	スラブ下：断熱材敷	防水形複層塗材E 外壁内側：断熱材打込み	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30 屋根スラブ下、断熱材打込み	防水形複層塗材E	アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0) スチールフラッシュドア SOP	くつふきマット 地流し 壁どい 落雪防止金物(屋根取付) アルミ庇(既製品) 通路シェルター(アルミ既製品)		玄関ポーチ	大判磁器質タイル 300x300(防滑仕様)	防水形複層塗材E	アスファルト防水 押えコンクリートt=80、溶接金網φ6.0×100×100 伸縮目地 20×80 既製品φ3000 此幕板：アルミパネル面加工 t=2.0 フッ素樹脂塗装	アルミスバンドレル t=1.0	アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0) スチールフラッシュドア SOP	点字ブロック：磁器質 t=12 300×300		スロープ	磁器質タイル 100×100(防滑仕様)	—	—	—	—	手摺：ステンレス HL 42.7φ 2段 点字ブロック：磁器質 t=12 300×300	受入計量・設備棟		—	防水形複層塗材E 外壁内側：断熱材打込み	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30 屋根スラブ下、断熱材打込み	防水形複層塗材E	アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0)	落雪防止金物(屋根部取付)		計量機上部庇・ポーチ	コンクリート直均し アスファルト舗装	—	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30	アルミスバンドレル t=1.0	スチールフラッシュドア SOP	車両積載台確認用架台 落雪防止金物(屋根部取付) アルミ防風スクリーン(18ガラス入り) 視認用鏡：天井付SUS製既製品1000角	コア・資材倉庫	コア・資材庫	—	—	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30	—	スチールフラッシュドア SOP スチール電動シャッター SOP	落雪防止金物(屋根部取付)
仕上げ種別		高さ(mm)	詳細番号																																																																																						
VB	(樹種 ※杉・)	※60・75	(2-11-1)	(2-11-9)																																																																																					
WB	(ビニール床シート巻上げ)	・60・	(2-11-4：CL仕上げ)																																																																																						
NC	(SUS)	○60	(2-11-2：アルミ製ジョイナー)																																																																																						
施設名称	施工箇所	床	壁	屋 根	軒 天	建 具	附属物																																																																																		
管理棟	管理棟	スラブ下：断熱材敷	防水形複層塗材E 外壁内側：断熱材打込み	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30 屋根スラブ下、断熱材打込み	防水形複層塗材E	アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0) スチールフラッシュドア SOP	くつふきマット 地流し 壁どい 落雪防止金物(屋根取付) アルミ庇(既製品) 通路シェルター(アルミ既製品)																																																																																		
	玄関ポーチ	大判磁器質タイル 300x300(防滑仕様)	防水形複層塗材E	アスファルト防水 押えコンクリートt=80、溶接金網φ6.0×100×100 伸縮目地 20×80 既製品φ3000 此幕板：アルミパネル面加工 t=2.0 フッ素樹脂塗装	アルミスバンドレル t=1.0	アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0) スチールフラッシュドア SOP	点字ブロック：磁器質 t=12 300×300																																																																																		
	スロープ	磁器質タイル 100×100(防滑仕様)	—	—	—	—	手摺：ステンレス HL 42.7φ 2段 点字ブロック：磁器質 t=12 300×300																																																																																		
受入計量・設備棟		—	防水形複層塗材E 外壁内側：断熱材打込み	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30 屋根スラブ下、断熱材打込み	防水形複層塗材E	アルミ断熱サッシ (ガラス：Low-e 6.0+空気層12+6.0)	落雪防止金物(屋根部取付)																																																																																		
	計量機上部庇・ポーチ	コンクリート直均し アスファルト舗装	—	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30	アルミスバンドレル t=1.0	スチールフラッシュドア SOP	車両積載台確認用架台 落雪防止金物(屋根部取付) アルミ防風スクリーン(18ガラス入り) 視認用鏡：天井付SUS製既製品1000角																																																																																		
コア・資材倉庫	コア・資材庫	—	—	カラーガルバリウム鋼板 t=0.35 立馳葺き アスファルトルーフィング22kg 屋根スラブの上、バークライトモルタル t=30	—	スチールフラッシュドア SOP スチール電動シャッター SOP	落雪防止金物(屋根部取付)																																																																																		
内部仕上装			階		室 名	床	幅 木	壁・柱	天 井	備 考																																																																															
			1	管理棟 風除室1・2		C	磁器質タイル 300x300(防滑仕様)	SUS H=60	LGS	不燃化粧板 t=3.0	LGS	DR (凹凸タイプ)t=19 塩ビ廻縁	2,600																																																																												
					エントランス	C	磁器質タイル 300x300(防滑仕様)	SUS H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	DR (凹凸タイプ)t=19 塩ビ廻縁	3,000	受付カウンター																																																																											
					エントランスホール	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	DR (凹凸タイプ)t=19 塩ビ廻縁	3,000	ビクチャーレール 消火器ボックス																																																																											
					事務室	C	タイルカーペット t=6.5 フリーアクセスフロア H=300	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	DR (フラットタイプ)t=12 GB-R 塩ビ廻縁	3,900 ～2,800	ブラインドボックス 窓下収納棚																																																																											
					連絡口	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	DR (フラットタイプ)t=12 GB-R 塩ビ廻縁	3,900	上り框 下足入れ																																																																											
					応接室	C	タイルカーペット t=6.5	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	DR (フラットタイプ)t=12 GB-R 塩ビ廻縁	2,800	ビクチャーレール																																																																											
					研修室	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	DR (フラットタイプ)t=12 GB-R 塩ビ廻縁	3,900 ～2,800	スクリーンボックス ホワイトボード ビクチャーレール ブラインドボックス																																																																											
					会議室	C	タイルカーペット t=6.5	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H (GW充填)	LGS	DR (フラットタイプ)t=12 GB-R 塩ビ廻縁	2,500	ブラインドボックス ホワイトボード ビクチャーレール																																																																											
					書庫(1)	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=9.5 GB-R 塩ビ廻縁	3,900 ～2,800	電動集密書架																																																																											
					書庫(2)	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=9.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,600	電動集密書架																																																																											
					倉庫	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=9.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,500	ブラインドボックス																																																																											
					作業員詰所	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=12.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,800	ブラインドボックス																																																																											
					玄関	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=12.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,900	上り框 下足入れ																																																																											
					宿直室兼休憩室	C	畳敷き 乾式二重床 H=150	畳寄 25×55	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H (GW充填)	LGS	GB-D t=9.5 GB-R 木廻縁40×30	2,800	ブラインドボックス																																																																											
					踏込	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H (GW充填)	LGS	GB-D(T) t=12.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,800																																																																												
					男子更衣室	C	タイルカーペット t=6.5 乾式二重床 H=150	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=12.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,500 ～2,650	上り框																																																																											
					踏込	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=12.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,500 ～2,650	上り框																																																																											
					女子更衣室	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=12.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,500 ～2,650																																																																												
					湯沸室	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-S+化粧FK	LGS	GB-D(T) t=9.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,500	流し台 L1200(1H×φ1口) 吊り戸棚L600 レンジフードL600																																																																											
					シャワー室前室	C	F S、t=2.0	VB H=60	LGS	ビニルクロス(不燃) GB-R+GB-R-H	LGS	GB-D(T) t=9.5 GB-R 塩ビ廻縁	2,500	下足入れ 上り框																																																																											

														内部仕上装			床		(1) 特記以外の下地及び詳細番号は下表による。	*室内空気中の化学物質の濃度測定 測定対象室 ***** ・ ・ ・ ・ ・ * 箇所																																										
						仕上げ種別		詳細番号			--	--	--	---------------		フリーアクセスフロア		(1-02-14：※ H=100 ○ H=300) R C躯体面の指定仕上材(※なし ○ 防塵用塗料塗り) 指定仕上材(※ タイルカーペット ・ K T (E))	(1-01-4：t=10)		F S、K T、F T [N C]、[C T、C T S]、[H T]		(1-01-6)			磁器質タイル		(1-02-4または5)			カーペット		(1-02-3)			たたみ		(1-02-8)			天然木化粧複合フローリング		(1-01-3：t=10)			R C、塗床仕上げ		(1-01-1) 防水モルタル厚(※ 15 ・ 30)			モルタル、防水モルタル											
					下地の区分欄の C：コンクリート下地、コンクリートブロック下地、ALC下地、押出成型セメント板下地 略号 LGS：軽量鉄骨下地 W：木造下地 P F：ポリスチレンフォーム(床下地のみ)																																																									

(一財)クリーンいわて事業団	
八幡平市平館第2地割	A-18
令和2年度	—
公共関与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事	
仕上表(1)	
縮 尺	—



(一財)クリーンいわて事業団	
八幡平市平館第2地割	A-20
令和2年度	—
公共関与型産業廃棄物最終処分場 土木施設建設工事	
案内図・全体配置図	
縮 尺	1:2000 (A1) 1:4000 (A3)